

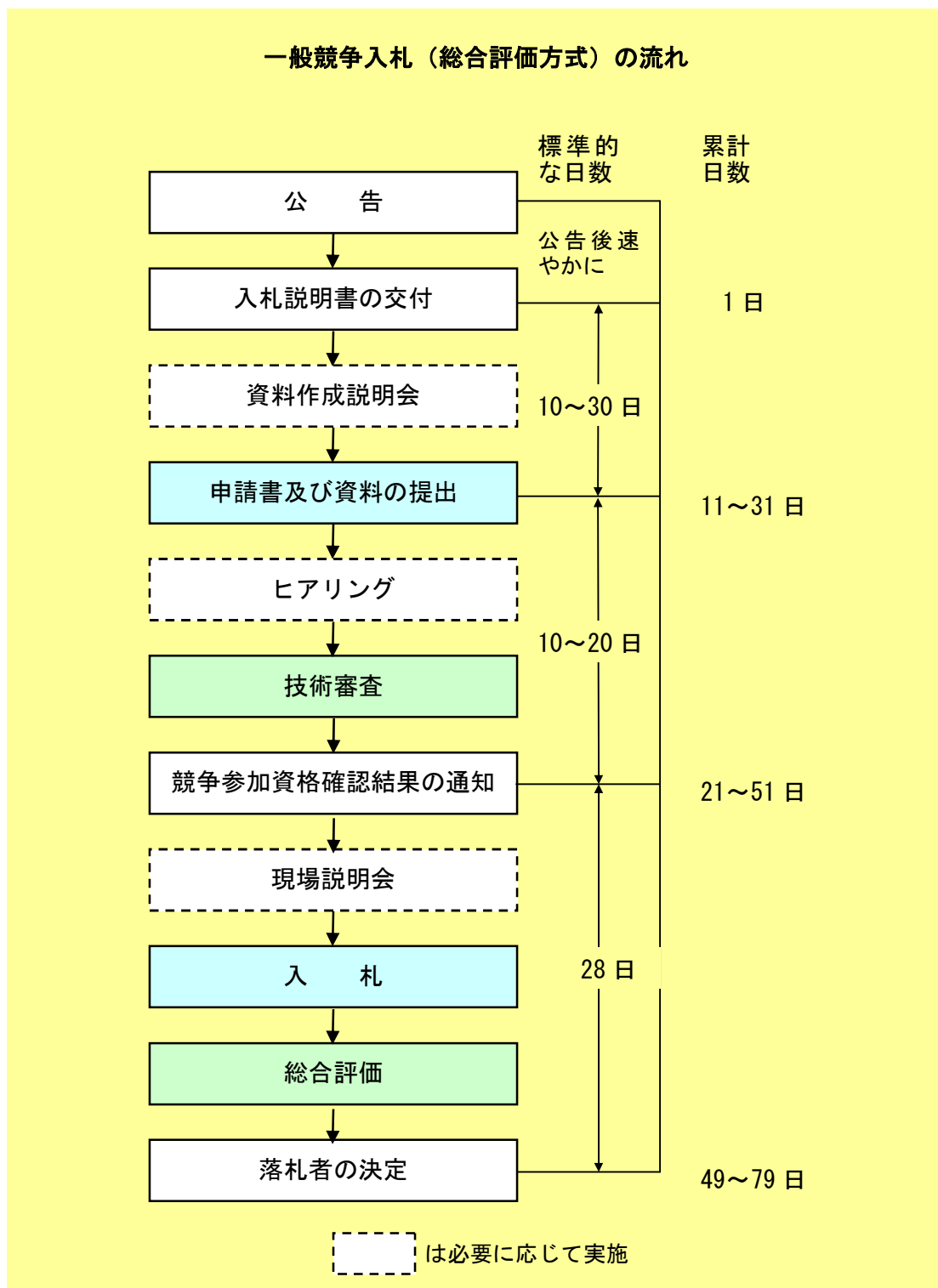
# 公共工事における総合評価方式活用ガイドライン（仮称） （素案）

## 参考資料

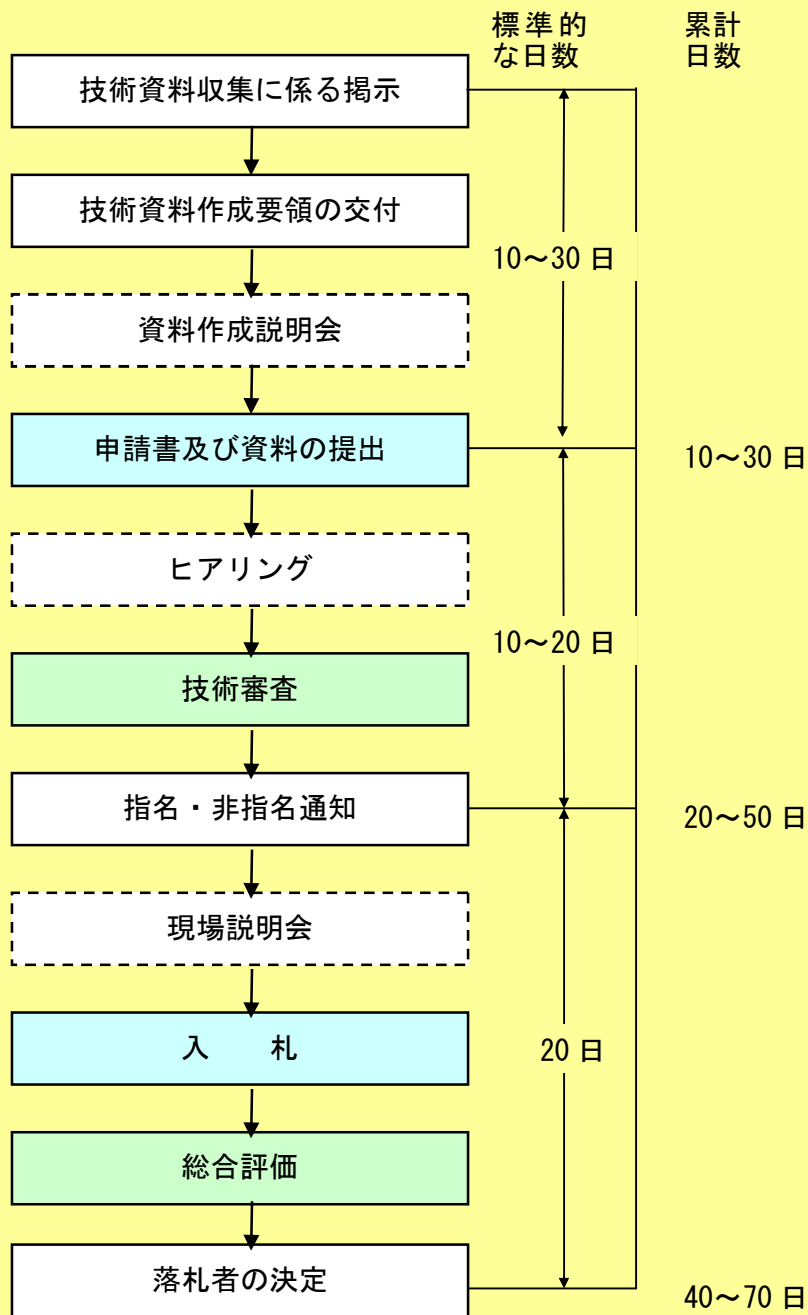
参考 1	入札・契約手続の流れ	1
参考 2	除算方式と加算方式の比較	7
参考 3	発注者の評価体制	10
参考 4	具体的な適用事例	13
参考 5	技術資料作成要領例	79

## 参考 1 入札・契約手続の流れ

### (1) 総合評価方式

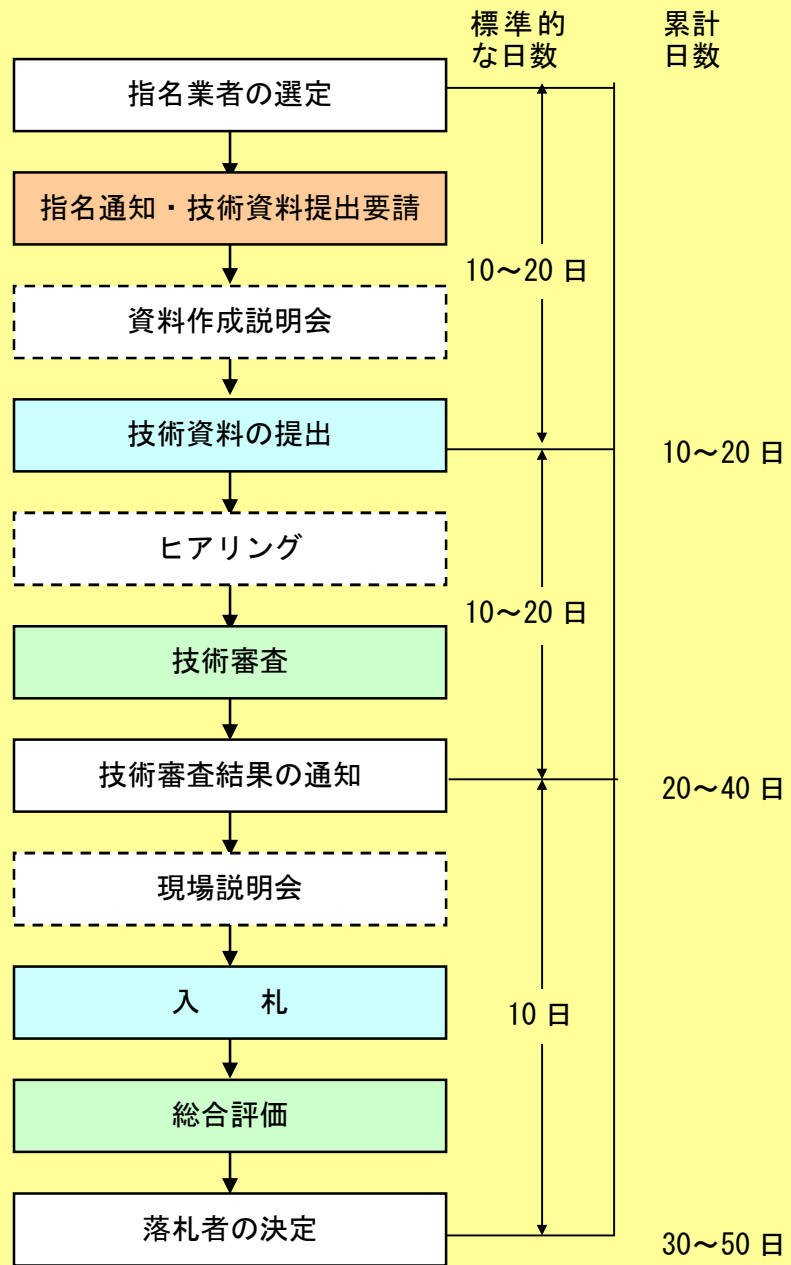


### 公募型指名競争入札（総合評価方式）の流れ



〔 〕は必要に応じて実施

### 通常指名競争入札（総合評価方式）の流れ

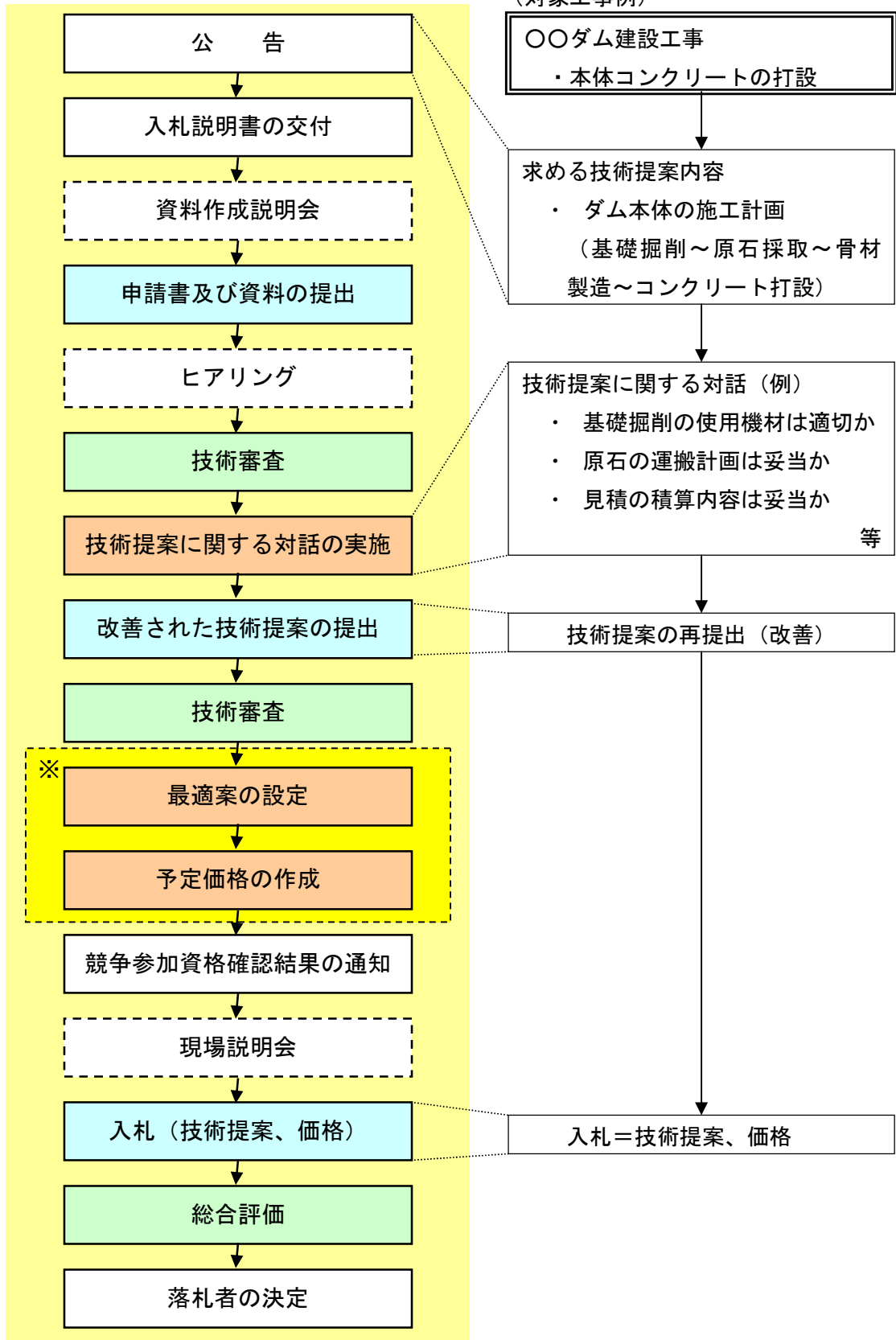


〔 〕 は必要に応じて実施

※現在の直轄工事における通常指名方式では入札・契約プロセスの中で企業からの技術資料等を求めるプロセスはないが、本提案による評価項目により総合評価方式を適用する場合には、新たに企業から技術資料等を求めるプロセスが追加される。

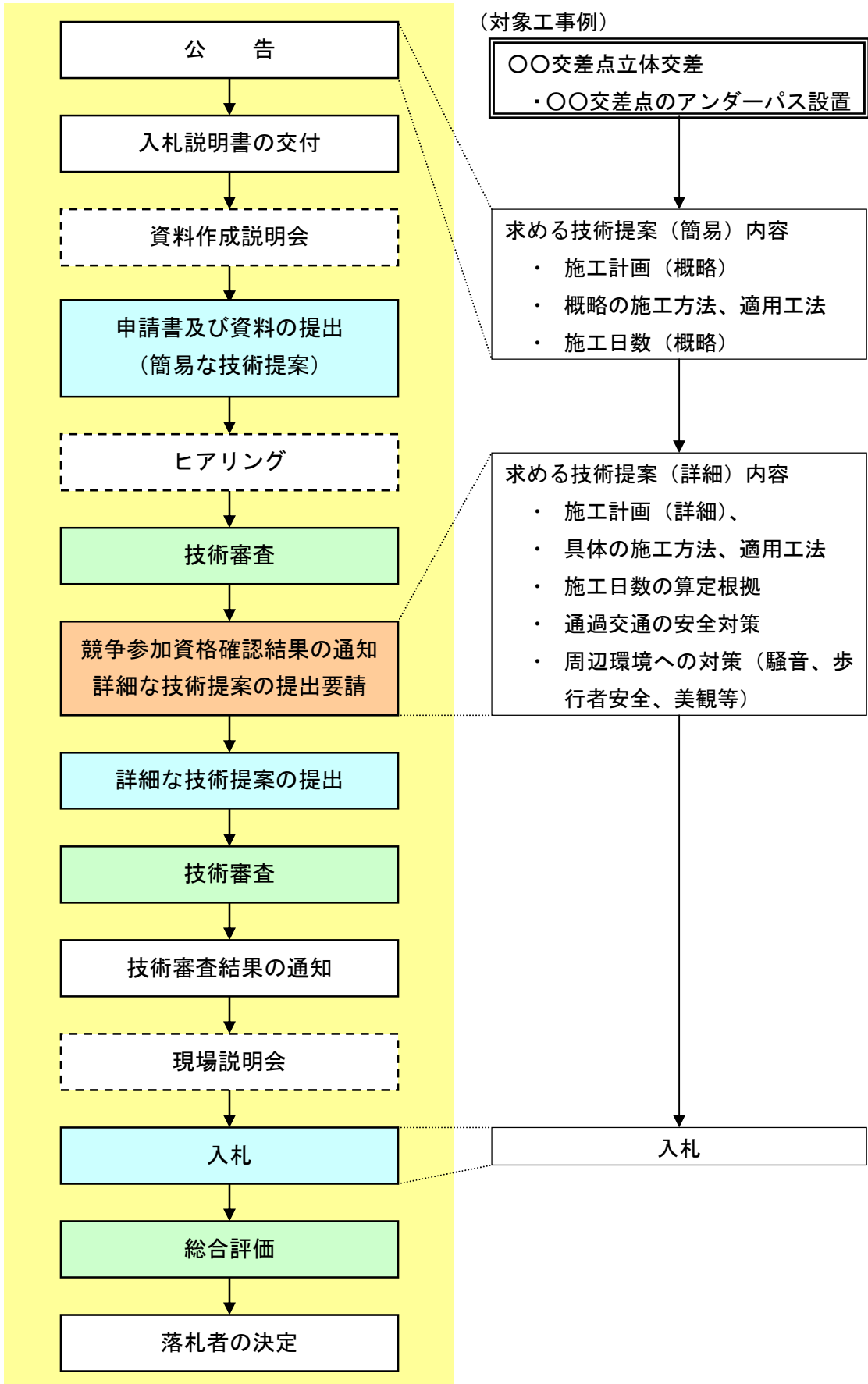
(2) 特に技術的難易度の高い工事に適用する方式

(a) 対話方式

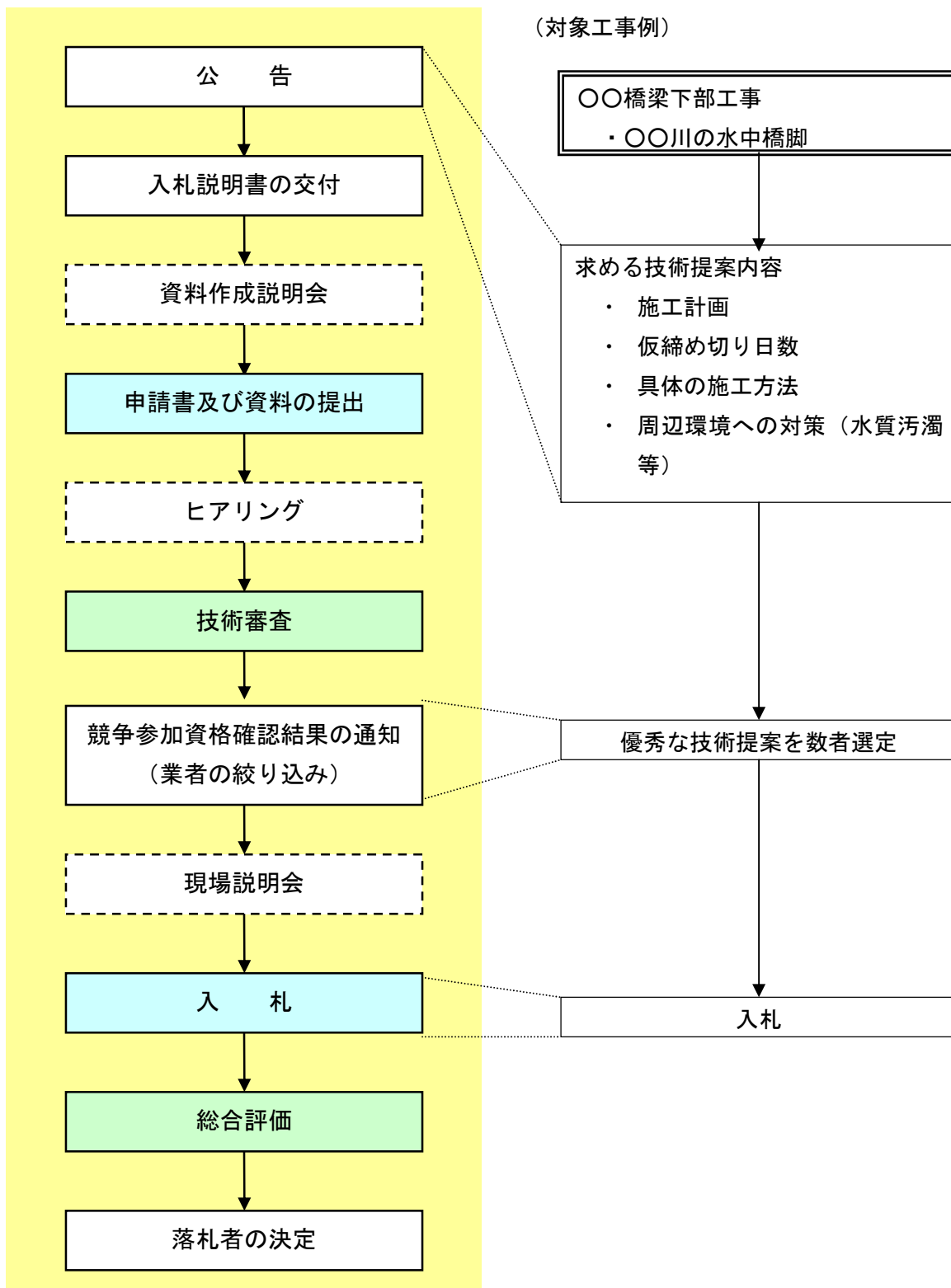


※技術提案の審査の結果を踏まえて、  
予定価格を作成する場合

(b) 二段階選抜方式



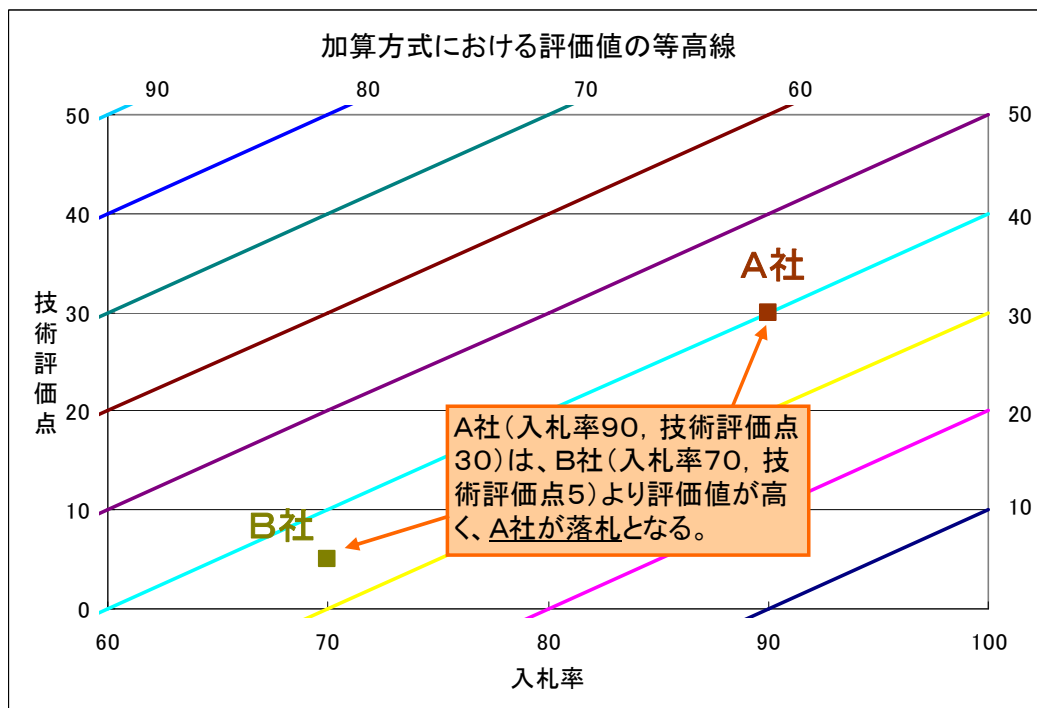
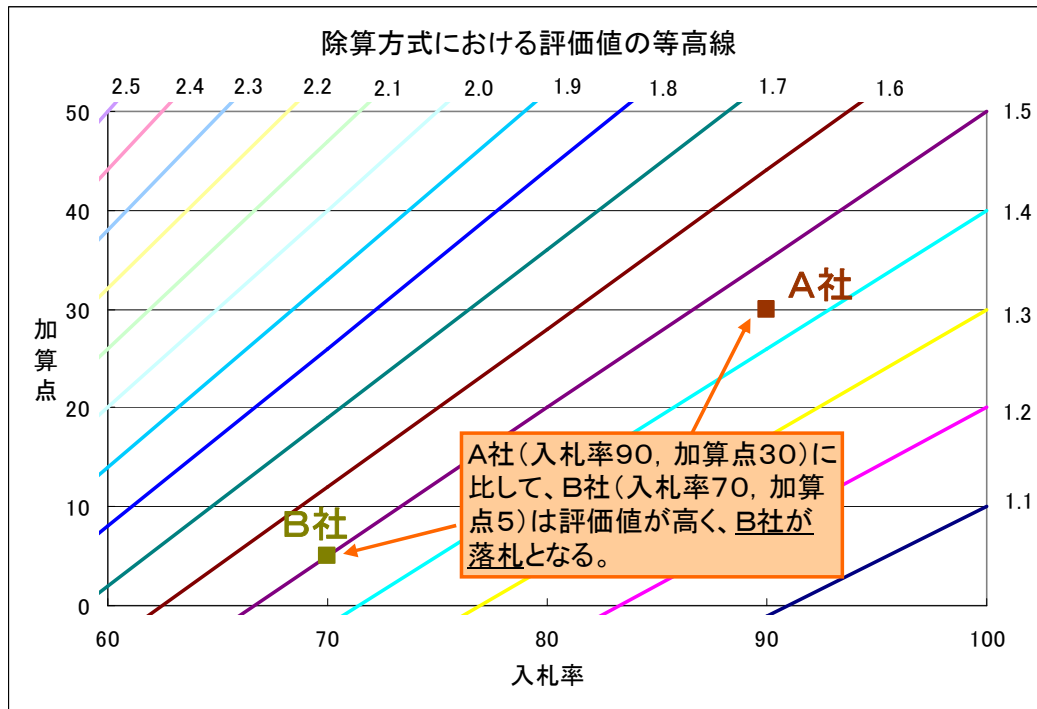
(c) 二封筒方式



## 参考2 除算方式と加算方式の比較

### (a) 評価値の比較

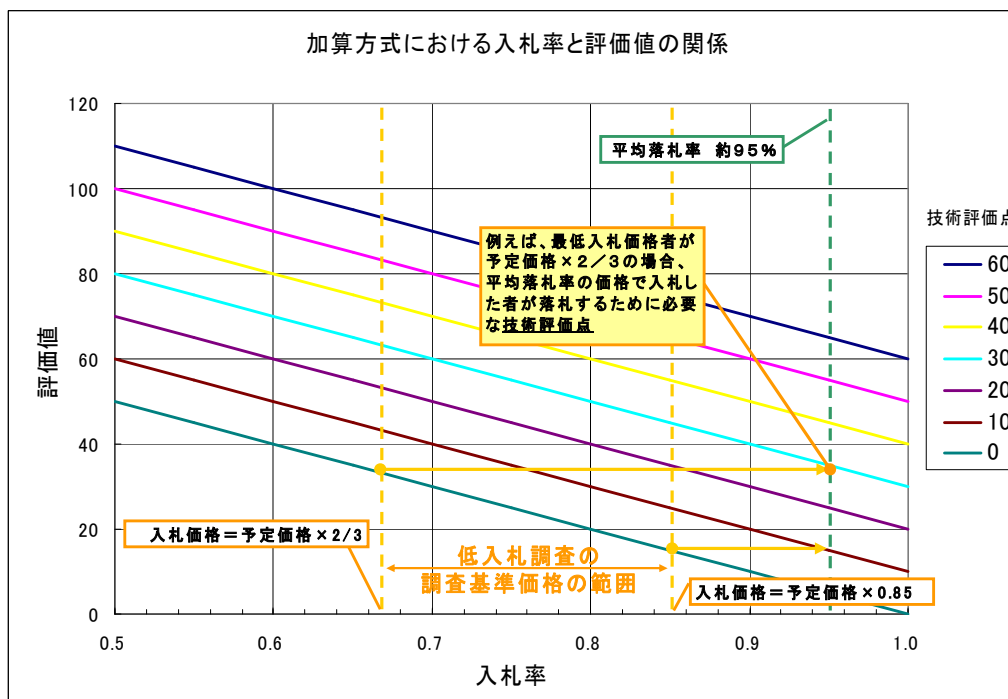
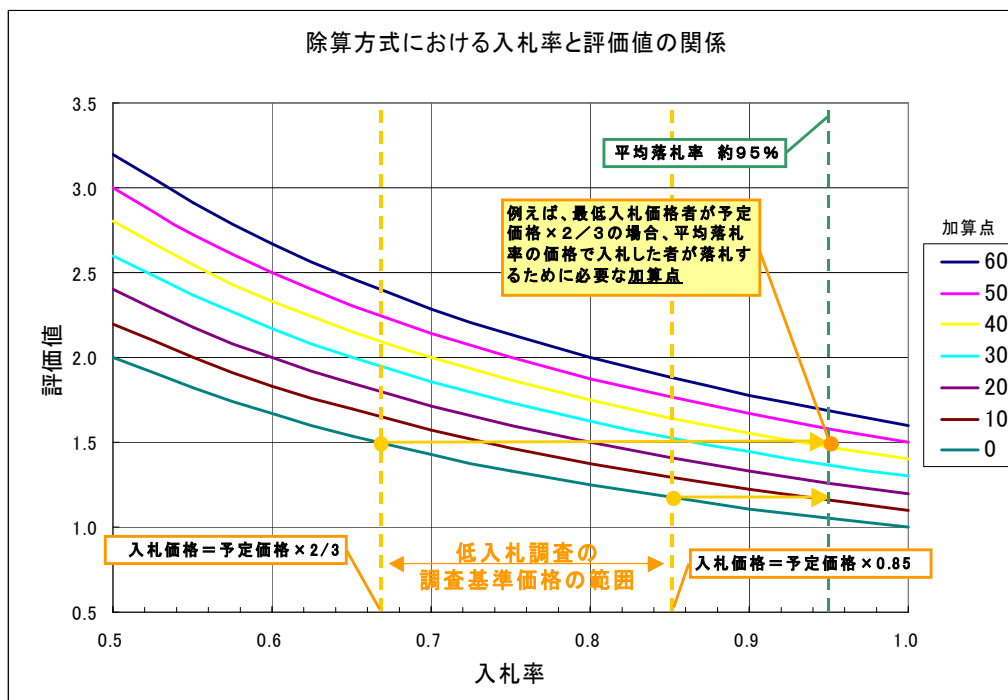
除算方式と加算方式の評価値を図化すると以下のとおりであり、除算方式と加算方式により落札者が異なる場合がある。したがって、例えば、低価格入札の懸念のある場合においては、加算方式を採用することにより、低価格入札による落札を回避できる可能性が高くなる。





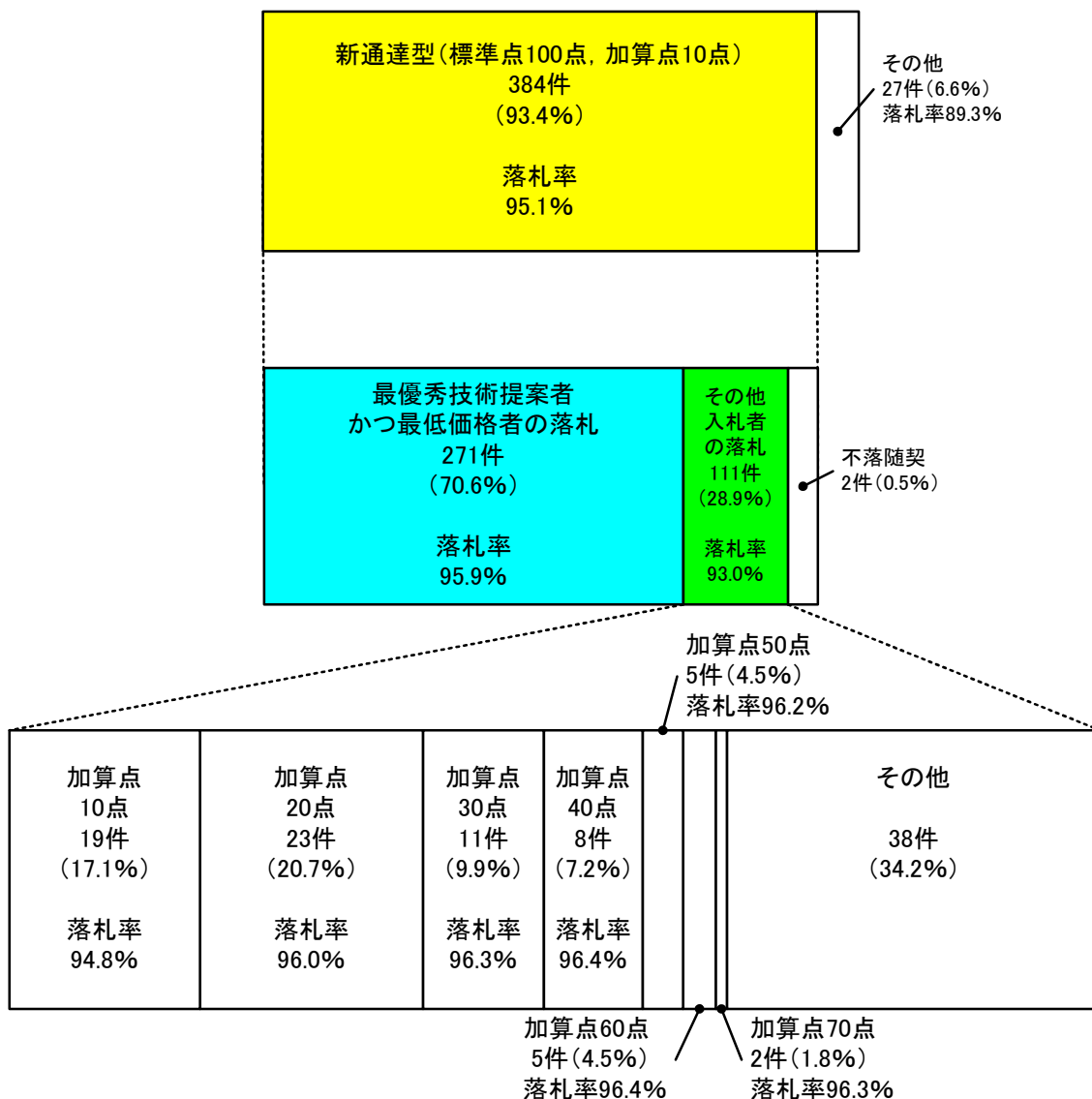
(b) 入札率と評価値のシミュレーション結果

不良業者により低入札価格調査制度の調査基準価格（会計法第85条）に相当する入札価格（工事の場合は、予定価格の3分の2から10分の8.5を乗じた価格）があった場合においても、平均落札率にて最低価格入札者を上回る評価値を得るために必要な技術評価点をシミュレーションにより求めた結果を以下に示す。



(c) H16新通達方式適用工事における設定加算点のシミュレーション結果

平成16年度に直轄工事において総合評価方式を適用した工事のうち、新通達方式にて加算点の満点（設定加算点）を10点としている工事384件を対象に、設定加算点を見直した場合の落札状況を以下に示す。



加算点を大きくすることにより、最優秀技術提案者が落札者となる割合

### 参考3 発注者の評価体制

公共工事の発注者は総合評価方式を実施するにあたり、従前の価格競争に比して、一層の技術的な判断や審査・評価等が求められる。

したがって、発注者は工事特性（工事規模や技術的課題の難易度）等を考慮し、技術的な審査や評価のための体制を整備する必要がある。

技術的な審査・評価体制を以下に例示する。

ケース1：すべて発注者の技術職員にて実施。

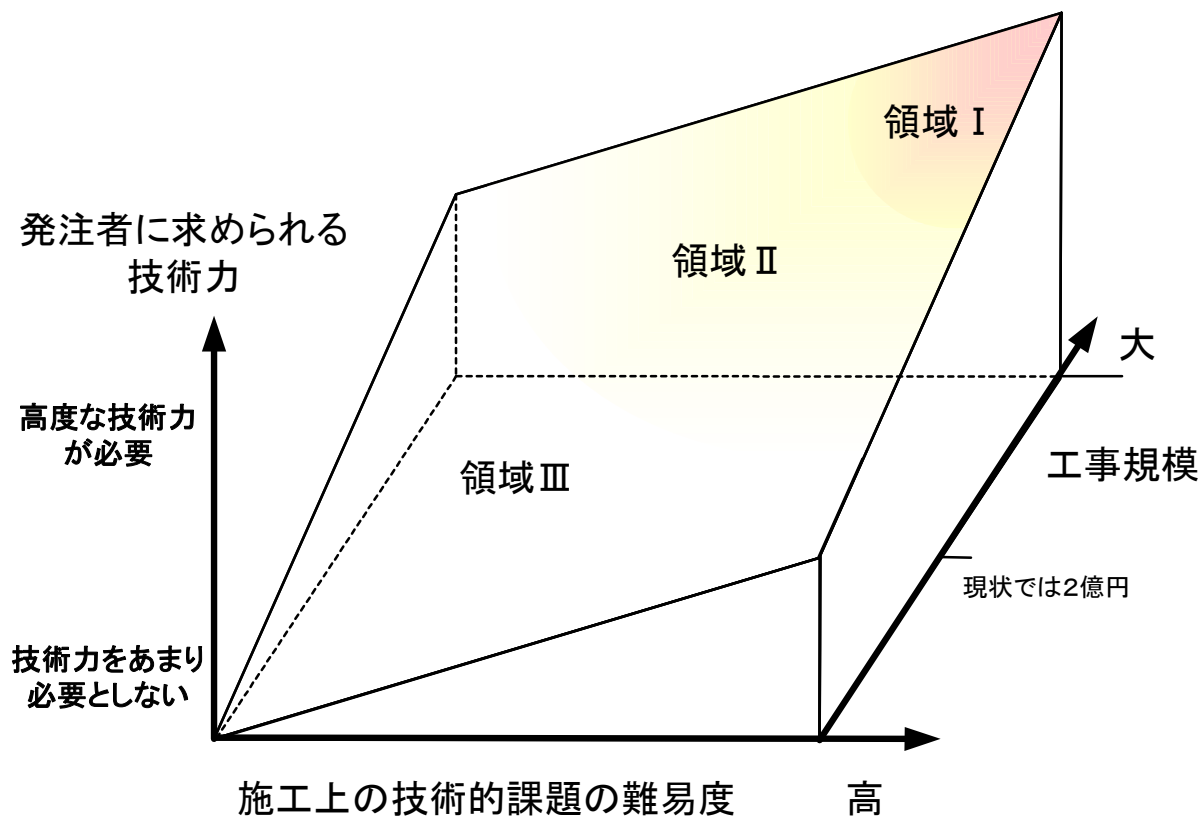
ケース2：基本は発注者の技術職員にて実施し、評価方法等の決定、技術審査については発注者支援機関等に委任。

ケース3：行政判断を除き、技術的な評価・審査はすべて発注者支援機関等に委任。

表 総合評価方式における発注者の役割

段 階	総合評価方式における発注者の役割	備 考
総合評価方式の適用の決定	工事特性（工事規模や技術的課題の難易度）等に応じた適否の判断。	自治体においては学識経験者の意見等を反映
入札の評価に関する基準、落札者の決定方法の設定	工事特性（工事規模や技術的課題の難易度）や地域性等に応じた評価項目や評価基準、評価方法等の選定・決定のための技術的判断。	同 上
技術審査	入札参加予定者からの技術提案や技術資料等の技術的な審査と評価。 必要に応じて配置予定技術者に対するヒアリングによる技術的な審査と評価。	
落札者の決定	総合評価方式による落札者の決定。	自治体においては学識経験者の意見等を反映
履行の確保	落札者（契約相手）の技術提案や技術資料等の履行状況の検証。 また不履行の場合の措置。	
工事の評価	履行検証結果等を通じた工事成績の適正な評定の実施。	

なお、発注者に求められる技術力は、工事の規模、技術的課題の難易度に対応する各領域（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）に応じて異なる。特に領域Ⅰ及びⅡに該当する工事を実施する際に、技術者がほとんどいない等により技術力が不足する場合には、発注者支援機関等を活用し、発注関係業務を適切に実施する必要がある。



発注者支援機関等に求められる資格要件について、中部地方整備局が作成した案を参考に示す。

(1) 発注者支援機関の認定

- 発注者支援業務を実施することができる機関の認定要件等は以下のとおりとする。
- 当面の間は各県の建設技術センター等及び建設協会を対象に試行する。

認定対象	資格要件等
支援機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公平性、中立性が担保されること</li> <li>・ 土木工事に関する各種基準に精通していること（専門性の担保）</li> <li>・ 法令の遵守及び高度な守秘義務が担保されること</li> <li>・ 業務遂行に必要な技術者が確保できること</li> </ul> 上記を総合的に判断し認定者が認めたものとする。

(2) 発注者支援業務の技術者の認定

○発注者支援業務を実施することができる技術者の資格要件等は下記のとおりとする。

認定対象	資格要件等	
管理技術者	以下のイ～ハの全てに該当する者 イ：認定を受けた機関と恒常的な雇用関係がある者 ロ：「発注者支援業務等管理技術者認定試験（仮称）」に合格した者（有効期間：5年） ハ：「発注者支援業務等管理技術者講習会（仮称）」を受講した者（有効期間：5年）	
担当技術者	※認定を受けた機関と雇用関係があり、以下の何れかに該当する者	
	業者選定	①以下のイ～ロの全てに該当する者 イ：「発注者支援業務等管理技術者認定試験（仮称）」に合格した者（有効期間：5年） ロ：「発注者支援業務等管理技術者講習会（仮称）」を受講した者（有効期間：5年）
	積算業務	①技術士（建設部門又は総合技術監理部門）の資格を有し、工事積算に関する業務を1年以上経験している者 ②二級土木施工管理技士の資格を有し、工事積算に関する業務を3年以上経験している者 ③公共工事の発注者としての実務経験が3年以上で、工事の設計・積算業務の経験を有している者
	監督業務	①技術士（建設部門又は総合技術監理部門）の資格を有し、施工管理に関する業務を1年以上経験している者 ②二級土木施工管理技士の資格を有し、施工管理に関する業務を3年以上経験している者 ③公共工事の発注者としての行政経験が10年以上で、施工管理に関する業務を3年以上経験している者
検査業務	①以下のイ～ロの全てに該当する者 イ：「発注者支援業務等管理技術者認定試験（仮称）」に合格した者（有効期間：5年） ロ：「発注者支援業務等管理技術者講習会（仮称）」を受講した者（有効期間：5年）	

(3) 認定機関

○(1)、(2)の認定は、当面の間、関係行政機関で構成される協議会等において実施する。

## 参考4 具体的な適用事例

主要な工種を対象に、各領域ごとに総合評価方式を適用した場合の事例を参考として提示する。

### ■ 主要工種

各発注機関における平成15・16年度竣工工事の主要工種を以下に示す。このうち、土木関係の工種（色付け部分）を対象に事例を作成している。

国発注工事上位5工種

工種	件数	割合
維持修繕工事	6,535	12.4%
通信工事	4,718	8.9%
アスファルト舗装工事	4,244	8.0%
コンクリート構造物工事	3,746	7.1%
土工事	3,437	6.5%
合計	22,680	42.9%

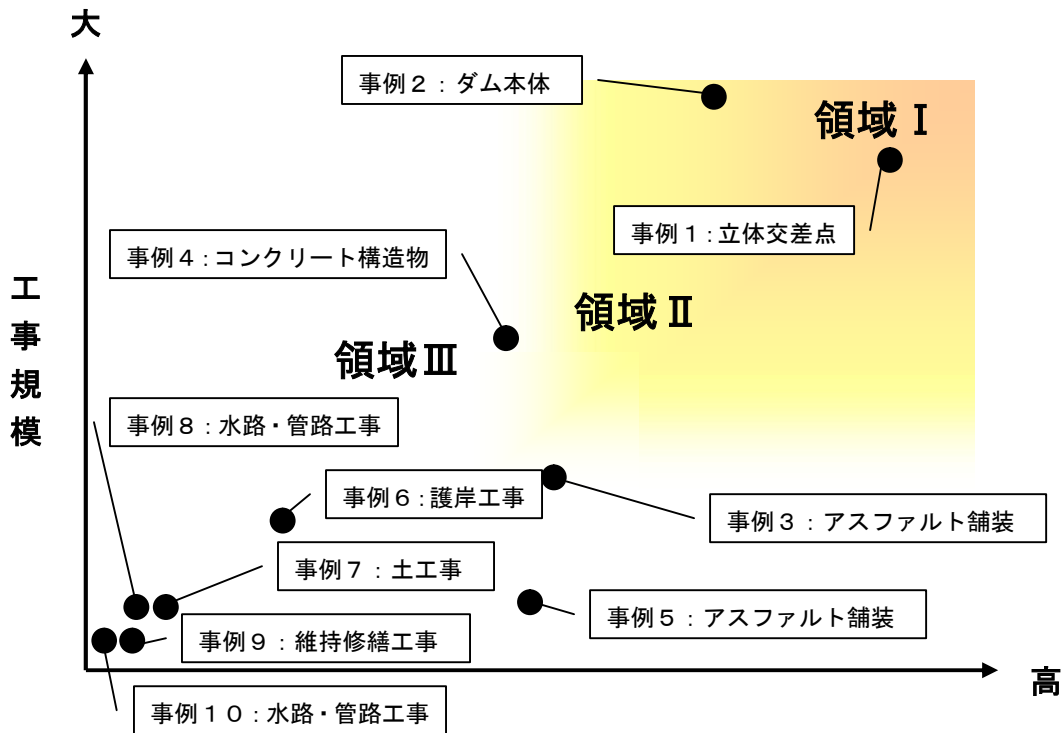
都道府県発注工事上位5工種

工種	件数	割合
アスファルト舗装工事	34,480	10.2%
その他土木一式工事	33,984	10.0%
土工事	27,897	8.2%
護岸工事	21,574	6.4%
水路・管路工事	21,074	6.2%
合計	139,009	41.0%

市区町村発注工事上位5工種

工種	件数	割合
水路・管路工事	54,280	21.0%
その他土木一式工事	34,408	13.3%
アスファルト舗装工事	22,538	8.7%
建築一式工事	19,544	7.6%
土工事	18,187	7.0%
合計	148,957	57.6%

■事例の位置付け



施工上の技術的課題の難易度

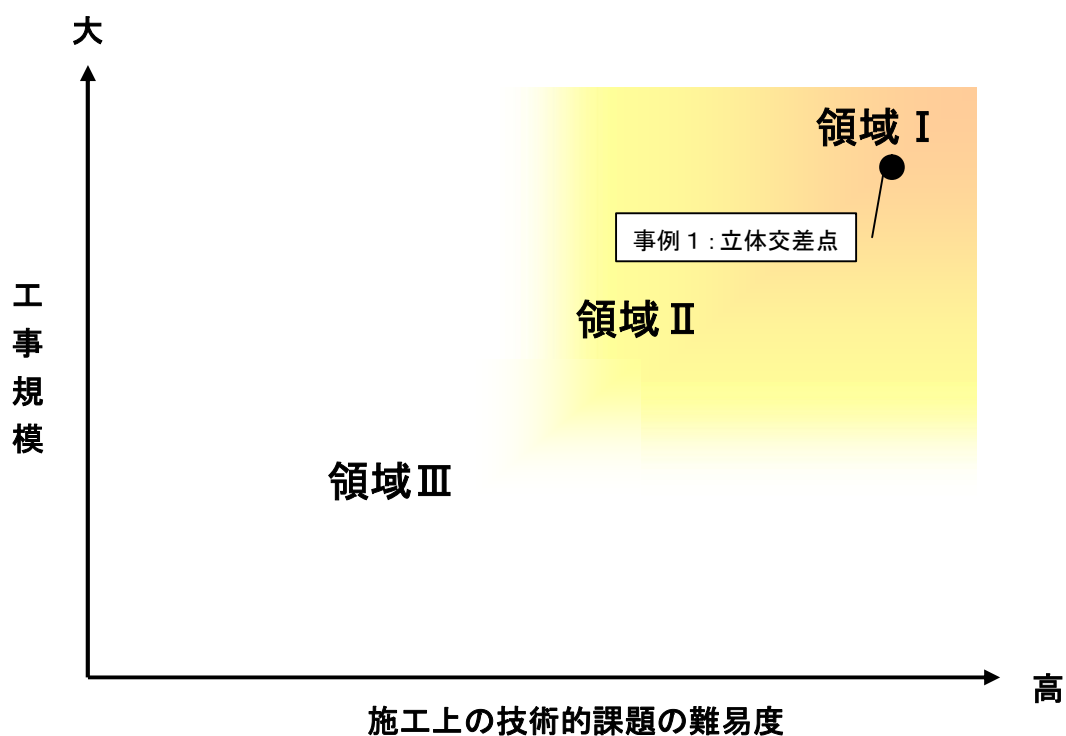
■各事例の概要

No	工種	概要	金額 (百万)	難易 度	領域	頁
1	立体交差点工 事	交通量の多い、立体交差点工事。交通規制期間 及び渋滞緩和策に関する技術提案を評価し、交 渉により落札者を決定する。	6,000	特に 高い	I	16
2	ダム本体工事	フィルダムの本体工事。騒音、水質汚濁対策に 関する技術提案を評価する。	24,000	高い	II	23
3	アスファルト 舗装工事	幹線道路におけるアスファルトの補修修繕工 事。一般通行車両への安全対策等を評価する。	90	高い	III	31
4	コンクリート 構造物工事	田園地域における高架橋下部工事。工程及び配 慮事項に関する技術的所見を評価する。	300	中	III	39
5	アスファルト 舗装工事	オフィス街におけるアスファルト舗装工事。施 工上の配慮事項の技術的所見を評価する。	10	中	III	47
6	護岸工事	護岸工事。工程管理に係わる技術的所見を評価 する。	25	中	III	53
7	土工事	築堤工事。同種・類似工事実績等を評価する。	9	低い	III	59
8	水路・管路工事	農業用排水路の設置工事。同種・類似工事実 績等を評価する。	9	低い	III	64
9	維持修繕工事	堤防の除草等の工事。同種・類似工事実績等 を評価する。	7	低い	III	69
10	水路・管路工事	市道の側溝整備工事。同種・類似工事実績等 を評価する。	7	低い	III	74

## 1. 領域 I の適用事例

領域 I に該当する工事は、工事規模が特に大きく、施工上の技術的難易度も特に大きい工事であり、技術提案の余地や効果は極めて大きいものである。

ここでは領域 I の工事事例について、評価項目、評価方法、評価結果等について参考として示す。





(1) 事例1：立体交差点工事

(a) 工事概要

本工事は、一般国道〇号線における都市部の2箇所の交差点を立体化するものであり、約450mの高架橋及びすりつけ部の設計・施工を行うものである。

当該工事箇所は、日交通量10万台と非常に多く、慢性的な交通渋滞が発生している区間であり、また沿線の開発も進み、商業店舗が多く密集していることから、道路利用者、沿道住民等への影響を最小限にすることが重要であることから、規制日数の短縮と、渋滞緩和に対する提案を求めるものである。

施工箇所：〇〇県〇〇市〇〇地内

工 期：契約翌日から〇〇〇日間

工事概要：・高架橋（上部工、下部工、基礎項） 2橋（橋長250m、300m）  
・すりつけ部土工（擁壁工含む） 1式

標 準 案：<交通規制：660日以下>

- ・既設橋梁部以外は原則として昼間施工（8：00～17：00）とし、現況6車線のうち4車線を確保。（ただし、上部工架設時は4車線確保が不可能な場合は夜間施工（22：00～6：00）とし、2車線確保）
- ・既設橋梁部は原則として昼間施工とし、高架部の本線4車線を確保。（ただし、既設擁壁取り壊し時等の本線4車線確保が不可能な場合は夜間施工とし、本線2車線確保）
- ・側道は全体で2車線を確保。

予定価格：6,000百万円

(b) 施工上の技術的課題

立体交差工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
工事目的物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> コンクリートの耐久性が求められる。
		<input type="checkbox"/> 施工数量により、設備の機能・性能が向上する。
		<input type="checkbox"/> コンクリートの特別な品質管理・出来形管理が求められる。
社会的要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input checked="" type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
	地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。
揮発性有機化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。	
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円以上の大規模工事である。
- 技術的課題の難易度：日交通量10万台の現場における交通規制期間の短縮のためには、一般交通車両の安全確保のみならず、入札者固有の施工方法への見直しや施工方法見直しに伴う最適な構造物の型式への変更も予想され、特に難易度が高い。

各社固有の施工方法、構造型式の提案も予想されることから、領域Iとし、交通規制期間（車線規制日数）及び渋滞解消対策について技術提案を求め評価する。

(d) 評価項目と配点

規制日数と渋滞緩和に対する提案の2項目について、企業の提案値の評価を行う。

評価項目		配点	備考
技術力 ①企業の	車線規制日数（660日以下）	25点	最大短縮日数が150日以上の場合には25点とし、150日未満の場合には比率に応じて配点する。
	渋滞緩和に対する提案	5点	提案内容の優／良／可の判定に応じて、それぞれ5点、2.5点、0点を配点する。

【企業から提出を求める技術資料】

- 技術提案書（概略設計、施工方法提案）
  - ・ 概要（工法名、提案構造・工法、施工方法、開発会社）、特徴、適用条件
  - ・ 構造の成立性（構造概要、構造計算手法）、耐久性、耐震性
  - ・ 適用性（品質、出来形、現場条件、安全性）
  - ・ 維持管理
  - ・ 周辺環境対策
  - ・ 施工計画（工程を含む）
  - ・ 施工実績（施工実績、特許取得等）
- 社会的要請への対応に関する技術提案
  - ・ 車線規制日数の提案値
  - ・ 渋滞緩和に対する提案（VE提案の概要、施工方法等）
- 利用条件（工業所有権等の排他的権利に係る事項、提案内容の公表に係る所見）

## (e) 評価結果

評価項目		配点	A社	B社	C社
入札価格（百万円）		—	5,900	5,500	5,800
規制日数 (660日以下)	提案値	—	550	570	590
	加算点	25.0	18.3	15.0	11.7
渋滞緩和に 対する提案	提案内容	—	優	可	良
	加算点	5.0	5.0	0.0	2.5
合計 (a)		30.0	23.3	15.0	14.2

加算 方式	価格評価点 ( $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ )	—	1.7	8.3	3.3
	技術評価点 (aを30点換算)	—	23.3	15.0	14.2
	評価値 (価格評価点+技術評価点)	—	25.0	23.3	17.5
	入札結果	—	1位(落札)	2位	3位

除算 方式	技術評価点 (標準点+加算点 (aを50点換算))	—	138.9	125.0	123.6
	評価値 (技術評価点 / 入札価格 $\times 100$ )	—	2.35	2.27	2.13
	入札結果	—	1位(落札)	2位	3位

※加算方式は技術評価点を30点満点、除算方式は加算点を50点として算定。

(f) 技術資料の記入例

### 社会的要請への対応に関する技術提案

工事名：〇〇立体高架橋工事

会社名：〇△異工種建設工事共同企業体

■技術提案事項	① 車線規制日数の短縮
具体的な施工計画	
<p>1. 提案値（車線規制日数） 570日</p> <p>2. 提案概要 標準案では上部工の中央径間部を大型自走台車による一括架設、また側径間部をトラッククレーンベント架設によるところ、〇〇工法を採用することにより、側径間部で橋脚と一体で地組した桁（3スパン分）をドーリーで一括移動し、架設。その後側径間部をトラッククレーンベントで架設し引き続きアプローチ部を施工することにより、規制日数の短縮を図る。</p> <p>3. 施工方法 （1）具体的工法（省略） （2）施工手順及び設備構造・配置（省略） （3）施工の確実性・安全性（省略） （4）提案工法の特筆すべき内容・効果（省略）</p> <p>4. 利用条件 なし</p>	

## 社会的要請への対応に関する技術提案

工事名：〇〇立体高架橋工事

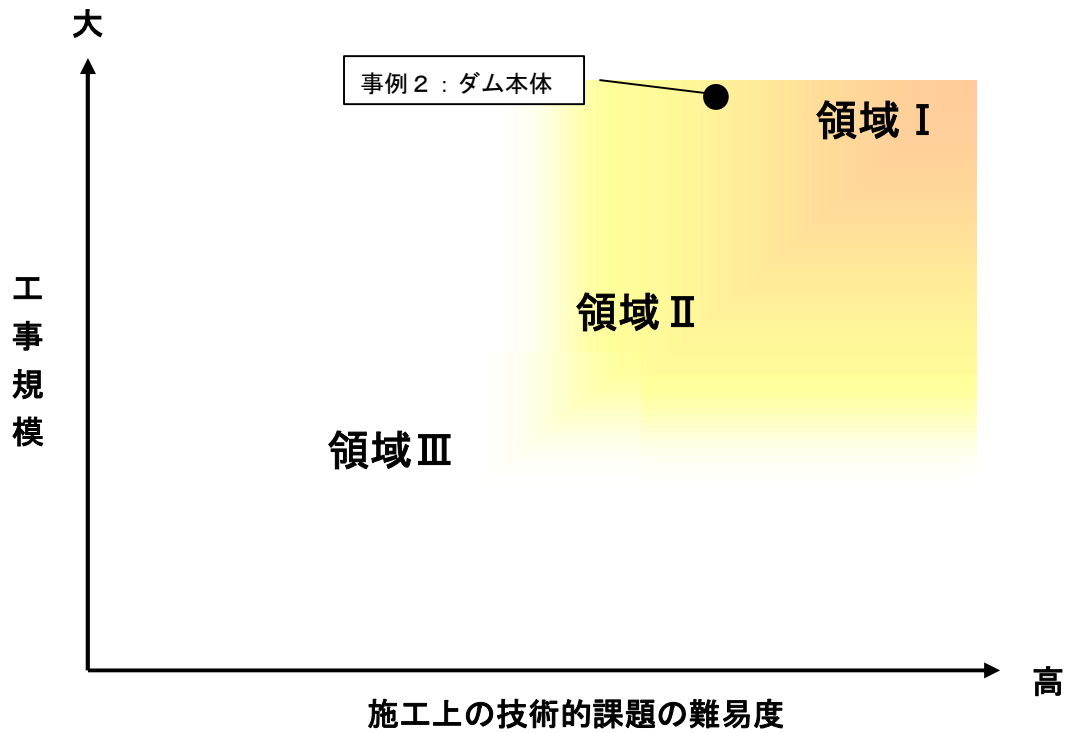
会社名：〇△異工種建設工事共同企業体

■技術提案事項	② 渋滞緩和に対する提案（工事の規制に伴う渋滞の緩和に対する計画や工夫に着目した評価）
具 体 的 な 施 工 計 画	
<p>1. 渋滞緩和に対する提案</p> <p>(1) 交差点部において、昼間の右折車線を確保する。</p> <p>右折車線：幅員3.0m、滞留長30m、テーパー長40m</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 橋脚1本柱及びPCウエル基礎形式の採用により、施工時占用幅を縮小し、昼間の右折車線を確保。</li><li>● 交差点近傍部の上部工仮設に移動多軸台車を採用し、夜間一括架設。</li></ul> <p>(2) 新設橋梁部及び既設橋梁部の幅員を3.5mとし、大型車の通行を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 新設橋梁部では3.5mを確保した高架道路を先行構築し、既設橋梁部では工事範囲を最小限とする構造提案により幅員を確保する。</li></ul> <p>(3) 施工期間を通じて上下車線の交通流を道路中央部で分離し、車両通行の円滑化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 暫定2車線供用する高架道路を道路中央部に先行構築し、中央分離帯を既設橋梁部の分離帯と連続させ、施工期間を通じた車両通行の円滑化を実現する。</li></ul> <p>2. 施工方法</p> <p>(1) 具体的工法（省略）</p> <p>(2) 施工手順及び設備構造・配置（省略）</p> <p>(3) 施工の確実性・安全性（省略）</p> <p>(4) 提案工法の特筆すべき内容・効果（省略）</p> <p>3. 利用条件</p> <p>なし</p>	

## 2. 領域Ⅱの適用事例

領域Ⅱに該当する工事は、工事規模が大きく、施工上の技術的難易度が高い工事であり、技術提案の余地や効果は大きいものである。

ここでは領域Ⅱの工事事例について、評価項目、評価方法、評価結果等について参考として示す。



(1) 事例2：ダム本体工事

(a) 工事概要

本工事は、地方部の山間部に新設するロックフィルダムにおける堤体盛立工事である。排水を河川に放流するため、濁水への対策が必要となる。また、住宅地に近接しているため、施工中の騒音対策が求められる。

施工箇所：〇〇県〇〇郡〇〇町〇〇地内

工 期：契約翌日から〇〇〇日間

工事概要：・ロックフィルダム（堤高120m, 堤頂長700m）

標準案：＜濁水対策＞

・ダムサイト地点（岩盤面処理・盛立地点）

機械処理脱水濁水処理施設250m<sup>3</sup>/hを1基設置し、日平均SS値を150mg/L以下、日平均pH値を8.6以下として河川に放流

・その他地点

沈砂池を設置し、日平均SS値を150mg/L以下として河川に放流

＜騒音対策＞

事業用地と民地の境界にH=2.5m、L=480mの木質系矢板の防音壁を設置

予定価格：24,000百万円



(b) 施工上の技術的課題

ダム本体工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
工事目的 物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> 施工数量により、設備の機能・性能が向上する。
		<input type="checkbox"/> 材料の特別な品質管理が求められる。
社会的 要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input checked="" type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input checked="" type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。	
揮発性有機 化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。	
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		
その他課題・配慮事項		
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円以上の大規模工事である。
- 技術的課題の難易度：現場が広大であることから、水質汚濁対策及び騒音対策も広範囲に対応可能なものである必要があり、難易度は高い。

難易度は高いが、仮設や施工方法での対応であり、構造物の見直しまでは予想されないことから、領域Ⅱとする。また、水質汚濁及び騒音対策について技術提案を求め評価する。

(d) 評価項目と配点

SS値、pH値、騒音の3項目について、企業の提案値の評価を行う。

評価項目		配点	備考
① 術 力 の 技	SS値（150mg/L以下）	15点	150mg/Lから10mg/L低減毎に1.0点
	pH（8.6以下）	15点	8.6から0.2低減ごとに1.875点
	騒音（85dB以下）	20点	85dBから1dB低減ごとに1.0点

【企業から提出を求める技術資料】

- 工事施工（岩盤面処理、盛立、材料採取）に伴う排水の浮遊物質（SS）の低減
  - ・ 具体的工法（省略）
  - ・ 施工手順及び設備構造・配置（省略）
  - ・ 施工の確実性・安全性（省略）
  - ・ 提案工法の特筆すべき内容・効果
- 工事施工（コンクリート打設、基礎処理）に伴う排水の水素イオン濃度（pH）の低減
  - ・ 具体的工法（省略）
  - ・ 施工手順及び設備構造・配置（省略）
  - ・ 施工の確実性・安全性（省略）
  - ・ 提案工法の特筆すべき内容・効果
- 工事施工（発生土処理）に伴う騒音レベルの低減係わる施工計画
  - ・ 具体的工法（省略）
  - ・ 施工手順及び設備構造・配置（省略）
  - ・ 施工の確実性・安全性（省略）
  - ・ 提案工法の特筆すべき内容・効果

## (e) 評価結果

評価項目		配点	A社	B社	C社
入札価格(百万円)		—	23,000	21,000	22,000
S S 値 (150mg/l)	提案値	—	60	100	105
	加算点	15.0	9.0	5.0	4.0
p H (8.6)	提案値	—	8.2	8.6	8.0
	加算点	15.0	3.75	0.0	5.625
騒音 (85dB)	提案値	—	65	80	72
	加算点	20.0	20.0	5.0	13.0
合計(a)		50.0	32.75	10.0	22.625

加算方式	価格評価点 ( $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ )	—	4.2	12.5	8.3
	技術評価点(aを30点換算)	—	19.6	6.0	13.6
	評価値 (価格評価点+技術評価点)	—	23.8	18.5	21.9
	入札結果	—	1位(落札)	3位	2位

除算方式	技術評価点 (標準点+加算点(aを30点換算))	—	119.65	106.0	113.58
	評価値 (技術評価点/入札価格×1000)	—	5.20	5.04	5.16
	入札結果	—	1位(落札)	3位	2位

※加算方式は技術評価点を30点満点、除算方式は加算点を30点として算定。

(f) 技術資料の記入例

### 社会的要請への対応に関する技術提案

工事名：〇〇ダム堤体盛立工事

会社名：〇△共同企業体

■技術提案事項	① 工事施工（岩盤面処理、盛立、材料採取）に伴う排水の浮遊物質量（SS）の低減
---------	---

具体的な施工計画	
1. 提案値（SS：mg/L） 日平均 60mg/L以下	
2. 提案概要 排水を側溝及び配水管により各地区で集水し、ダムサイトは「流量調整池」、「希硫酸＋炭酸ガス中和」、機械処理脱水方式によりSS値の低減を図る。その他地点は「凝集沈殿池方式の流量調整池」と沈殿池により低減を図る。	
3. 施工方法 (1) 具体的工法（省略） (2) 施工手順及び設備構造・配置（省略） (3) 施工の確実性・安全性（省略） (4) 提案工法の特筆すべき内容・効果 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 処理水質を連続監視し、異常時には流量調整池へ返送し安全を確保（ダムサイト）</li><li>・ 中和処理による凝集反応の促進（ダムサイト）</li><li>・ 凝集剤添加可能な沈殿地を設置し、安全な水面積水量負荷を確保（その他地区）</li></ul>	
4. 利用条件 なし	

## 社会的要請への対応に関する技術提案

工事名：〇〇ダム堤体盛立工事

会社名：〇△共同企業体

■技術提案事項	② 工事施工（コンクリート打設、基礎処理）に伴う排水の水素イオン濃度（pH値）の低減
---------	--

### 具体的な施工計画

#### 1. 提案値（pH）

8.2以下

#### 2. 提案概要

排水を側溝及び配水管により各地区で集水し、「流量調整池」、「希硫酸＋炭酸ガス中和」、機械処理脱水方式により処理水のpH低減を図る。

#### 3. 施工方法

（1）具体的工法（省略）

（2）施工手順及び設備構造・配置（省略）

（3）施工の確実性・安全性（省略）

（4）提案工法の特筆すべき内容・効果

- ・ 流量調整池による原水のpHの安定化・希硫酸、炭酸ガスの2段中和による高pHへの対応
- ・ 自動制御による中和剤注入量の適正管理・処理水質を連続監視し、異常時には流量調整池へ返送し安全を確保

#### 4. 利用条件

なし

## 社会的要請への対応に関する技術提案

工事名：〇〇ダム堤体盛立工事

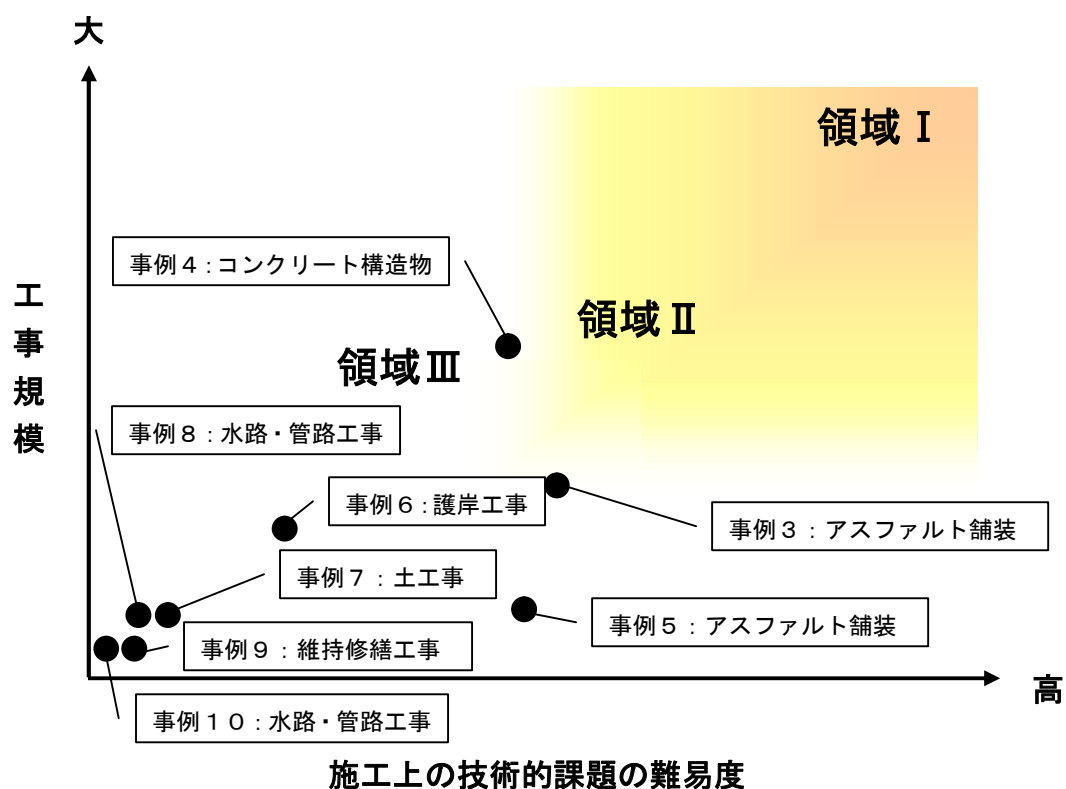
会社名：〇△共同企業体

■技術提案事項	③ 工事施工（発生土処理）に伴う騒音レベルの低減
具 体 的 な 施 工 計 画	
<p>1. 提案値（騒音レベル：dB） 65 dB以下</p> <p>2. 提案概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・防音壁の高さをH=3.0mにする。</li><li>・ダンプトラックに消音装置を取り付ける。</li></ul> <p>3. 施工方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>（1）具体的工法（省略）</li><li>（2）施工手順及び設備構造・配置（省略）</li><li>（3）施工の確実性・安全性（省略）</li><li>（4）提案工法の特筆すべき内容・効果<ul style="list-style-type: none"><li>・ 特になし</li></ul></li></ul> <p>4. 利用条件 なし</p>	

### 3. 領域Ⅲの適用事例

領域Ⅲに該当する工事は、工事規模が小さい、あるいは施工上の技術的難易度が高くない工事であり、技術提案の余地や効果が小さいものである。

ここでは領域Ⅲの工事事例について、評価項目、評価方法、評価結果等について参考として示す。



(1) 事例3：アスファルト舗装工事

(a) 工事の概要

本工事は、地方都市中心部を通過する幹線道路における舗装修繕工事である。

施工箇所：国道〇号線（地方都市中心部 L = 885m）

工 期：契約翌日から210日間

工事概要：	舗装修繕	885m
	舗装版打換	2,360m <sup>2</sup>
	切削オーバーレイ	10,470m <sup>2</sup>
	中央分離帯設置・撤去（1）	4.6m
	中央分離帯設置・撤去（2）	100m
	L型側溝設置・撤去	100m
	歩道舗装	1,005m <sup>2</sup>
	出入口舗装	211m <sup>2</sup>
	受枠削孔	96箇所
	区画線	4,350m
	道路構造物修繕工	1式
	横断管渠修繕工	1式

予定価格：¥90,000,000



(b) 施工上の技術的課題

アスファルト舗装工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
工事目的 物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> 自動車専用道や交通量の多い道路等で走行性が求められる。
		<input type="checkbox"/> 市街地を通る道路等で低騒音が求められる。
		<input checked="" type="checkbox"/> 舗装材の敷均し時の、温度管理が求められる。
社会的 要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input checked="" type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。	
揮発性有機化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。	
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円未満の中小規模工事である。
- 技術的課題の難易度：地方都市中心部での施工であり交通量が多く、一般通行車両の安全対策が必要である。また、大型車両の交通も多い道路であり十分な品質管理が必要である。冬季の施工でもあることから舗装材の慎重な温度管理が求められることから難易度は高い。

以上より、中小規模工事であることから、領域Ⅲとする。また、一般通行車両に対する安全対策及び敷均し度に影響する舗装材の温度管理について、施工上の配慮を確認するため、「施工上の課題に対する技術的所見」及び「工程管理に係わる技術的所見」を求め評価する。

(d) 評価項目と配点

評価項目		配点	備考				
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	3.0	[1000] 点 ≤ 総合評定値		
				1.5	[800] 点 ≤ 総合評定値 < [1000] 点		
				0.0	総合評定値 < [800] 点		
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	5点	5.0	施工計画の実施手順が適切であり、優れた工夫が見られる	
					2.5	施工計画の実施手順が適切	
					0.0	その他	
			施工量の把握の適切性	5点	5.0	各工程の工期が適切であり、優れた工期短縮が見られる	
					2.5	各工程の工期が適切	
					0.0	その他	
		施工上の課題(①舗装材の温度管理、②一般通行車両の安全対策)に対する技術的所見		5点	5.0	配慮事項が的確であり、優れた工夫が見られる	
		2.5	現地環境を踏まえておりの確				
		0.0	その他				
		施工上の配慮すべき事項		—			
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	2.0	直轄工事の実績あり	
					1.5	公団等の実績あり	
					1.0	都道府県の実績あり	
					0.5	市町村の実績あり	
					0.0	民間での実績あり	
		工事成績			6点	6.0	[80] 点以上
						4.5	[75] 点 ~ [80] 点未滿
3.0						[70] 点 ~ [75] 点未滿	
1.5						[65] 点 ~ [70] 点未滿	
0.0						[65] 点未滿	
優良工事表彰			2点	2.0	局長表彰の実績あり		
				1.0	事務所長表彰の実績あり		
				0.0	表彰の実績なし		
安全管理優良請負者表彰		—	表彰制度なし				
イメージアップ優良工事表彰		—	表彰制度なし				
関連分野での技術開発の実績		—					
技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0	1級土木施工管理技士または技術士		
				0.0	2級土木施工管理技士		
	配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験			2点	2.0	直轄工事の実績あり	
					1.5	公団等の実績あり	
					1.0	都道府県の実績あり	
					0.5	市町村の実績あり	
					0.0	民間での実績あり	
	配置予定技術者の工事成績			4点	4.0	[80] 点以上	
					3.0	[75] 点 ~ [80] 点未滿	
					2.0	[70] 点 ~ [75] 点未滿	
					1.0	[65] 点 ~ [70] 点未滿	
					0.0	[65] 点未滿	
	優良工事技術者表彰			2点	2.0	局長表彰の実績あり	
1.0					事務所長表彰の実績あり		
0.0					表彰の実績なし		
技術者の専門技術力		—	ヒアリング				
当該工事の理解度・取り組み姿勢		—	ヒアリング				
技術者のコミュニケーション力		—	ヒアリング				

**【企業から提出を求める技術資料】**

- 施工上の課題に係わる技術的所見
- 工程管理に係わる技術的所見
- 同種・類似工事の施工実績
- 配置予定技術者の資格
- 配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験

(e) 評価結果

評価項目		配点	A社	B社	C社		
入札価格			87,000	81,000	79,000		
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	3.0	3.0	1.5	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	5点	2.5	5.0	2.5
			施工量の把握の適切性	5点	5.0	2.5	0.0
		施工上の課題に対する技術的所見		5点	5.0	2.5	2.5
		施工上の配慮すべき事項		—			
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	1.0	1.5	1.0
		工事成績		6点	4.5	1.5	1.0
		優良工事表彰		2点	0.0	1.0	2.0
		安全管理優良請負者表彰		—			
		イメージアップ優良工事表彰		—			
		関連分野での技術開発の実績		—			
	技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0	2.0	2.0
		配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	2.0	1.0	1.5
		配置予定技術者の工事成績		4点	4.0	3.0	3.0
		優良工事技術者表彰		2点	0.0	0.0	2.0
		技術者の専門技術力		—			
		当該工事の理解度・取り組み姿勢		—			
		技術者のコミュニケーション力		—			
	合計点 (a)		38点	29.0	23.0	19.0	

加算方式	価格評価点 ( $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ )	—	3.3	10.0	12.2
	技術評価点 (a を 30 点換算)	—	22.9	18.2	15.0
	評価値 (価格評価点+技術評価点)	—	26.2	28.2	27.2
	入札結果	—	3位	1位(落札)	2位

除算方式	技術評価点 (標準点+加算点 (a を 30 点換算) )	—	22.9	18.2	15.0
	評価値 (技術評価点/入札価格×1000)	—	1.41	1.459	1.456
	入札結果	—	3位	1位(落札)	2位

※加算方式は技術評価点を30点満点、除算方式は加算点を30点として算定。

(f) 技術資料の記入例

### 施工上の課題に係わる技術的所見

工事名：〇〇市××町舗装修繕工事

会社名：(株) 〇〇建設

■施工上の課題	
項目	具体的な施工計画
①舗装材の敷均し時の、温度管理について	①舗装材の敷均し時の、温度管理について
②一般通行車両に対する安全対策について	②一般通行車両に対する安全対策について

## 工 程 表

工事名：〇〇市××町舗装修繕工事

会社名：（株）〇〇建設

項 目	単位	数量	7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月	
			10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20
道路修繕工事	式	1																
舗装修繕工 (車道部)	m <sup>2</sup>	10,470																
舗装修繕工 (歩道部)	m <sup>2</sup>	1,005																
道路構造物修繕工	式	1																
横断管渠修繕工	式	1																
共通仮設	式	1																

**■工程管理に係る技術的所見**

- ・ 舗装修繕工事においては上下線の同じ箇所を施工する区間があり、一般交通への影響を考慮し、上下線を同時に行う計画とする。これにより、7日程度の規制日数短縮が可能になると考える。
- ・ 一般交通への解放を1日の作業で行う必要があり、舗装面の品質を考慮し、気温の下がる11月中旬から舗装修繕工事を実施し、2月上旬の完了を目標とする。それまでの間は、車道への影響のない、横断管渠修繕工、防護柵修繕工事を行う計画とする。

(2) 事例4：コンクリート構造物工事

(a) 工事の概要

本工事は、地方部の田園地域に新設する広域幹線道路（国道〇号線）における高架橋下部工事（橋脚躯体工及び杭基礎工）である。

施工箇所：国道〇号線（地方部）

工 期：契約翌日から〇〇〇日間

工事概要：	RC橋脚工	22基
	橋脚躯体工	1式
	T型橋脚	3,100m <sup>3</sup>
	鉄筋	246t
	場所打杭工	1式
	場所打杭	120本
	排水構造物工	1式
	管渠	500m
	仮設工	1式
	工事用道路	1,800m <sup>2</sup>
	土留・仮締切工	37枚
	舗装工	1式
	アスファルト舗装工	2,500m <sup>2</sup>

予定価格：¥300,000,000



(b) 施工上の技術的課題

コンクリート構造物工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
工事目的物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> コンクリートの耐久性が求められる。
		<input type="checkbox"/> 施工数量により、設備の機能・性能が向上する。
		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリートの特別な品質管理・出来形管理が求められる。
社会的要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
	地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。
揮発性有機化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。	
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円以上の大規模工事である。
- 技術的課題の難易度：現場周辺に民家があるが、その数も少なく、現場からの距離もある程度確保されており、既存の騒音対策の有効活用を図れば十分であることから、難易度は高くない。寒中コンクリートの品質管理についても同様に新規の技術提案を求めるものではない。

以上より、技術的課題の難易度が高くないことから、領域Ⅲとする。また、騒音対策及び寒中コンクリートの品質管理について施工上の配慮が必要なことから、「工程に係わる技術的所見」及び「施工上の課題に対する技術的所見」の提出を求め評価する。

(d) 評価項目と配点

評価項目		配点	備考				
② 施工の確実性 (1/2)	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	3.0	[1000] 点 ≤ 総合評定値		
				1.5	[800] 点 ≤ 総合評定値 < [1000] 点		
				0.0	総合評定値 < [800] 点		
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	5点	5.0	施工計画の実施手順が適切であり、優れた工夫が見られる	
					2.5	施工計画の実施手順が適切	
					0.0	その他	
			施工量の把握の適切性	5点	5.0	各工程の工期が適切であり、優れた工期短縮が見られる	
					2.5	各工程の工期が適切	
					0.0	その他	
		施工上の課題 (①近隣住民への騒音・振動対策、②寒中コンクリートの品質管理) に対する技術的所見		5点	5.0	配慮事項が的確であり、優れた工夫が見られる	
		2.5	現地環境を踏まえておりの確				
		0.0	その他				
		施工上の配慮すべき事項		—			
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	2.0	直轄工事の実績あり	
					1.5	公団等の実績あり	
					1.0	都道府県の実績あり	
					0.5	市町村の実績あり	
					0.0	民間での実績あり	
		工事成績			6点	6.0	[80] 点以上
						4.5	[75] 点 ~ [80] 点未満
3.0						[70] 点 ~ [75] 点未満	
1.5						[65] 点 ~ [70] 点未満	
0.0						[65] 点未満	
6.0						[80] 点以上	
優良工事表彰				2点	2.0	局長表彰の実績あり	
					1.0	事務所長表彰の実績あり	
			0.0	表彰の実績なし			
安全管理優良請負者表彰		—	表彰制度なし				
イメージアップ優良工事表彰		—	表彰制度なし				
関連分野での技術開発の実績		—					

評価項目		配点	備考
②施工の確実性 (2/2)	配置予定技術者の資格	2点	2.0 1級土木施工管理技士または技術士 0.0 2級土木施工管理技士
		2点	2.0 直轄工事の実績あり
	1.5 公団等の実績あり		
	1.0 都道府県の実績あり		
	0.5 市町村の実績あり		
	0.0 民間での実績あり		
	配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験	4点	4.0 [80]点以上
			3.0 [75]点～[80]点未満
			2.0 [70]点～[75]点未満
			1.0 [65]点～[70]点未満
	配置予定技術者の工事成績	2点	2.0 局長表彰の実績あり
			1.0 事務所長表彰の実績あり
			0.0 表彰の実績なし
	優良工事技術者表彰	5点	ヒアリング
技術者の専門技術力	5点	ヒアリング	
当該工事の理解度・取り組み姿勢	5点	ヒアリング	
技術者のコミュニケーション力	5点	ヒアリング	

【企業から提出を求める技術資料】

- 工程管理に係わる技術的所見
- 施工上配慮すべき事項
- 同種・類似工事の施工実績
- 配置予定技術者の資格
- 配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験

(e) 評価結果

評価項目		配点	A社	B社	C社		
入札価格			250,000	270,000	280,000		
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	1.5	3.0	3.0	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	5点	2.5	2.5	5.0
			施工量の把握の適切性	5点	2.5	5.0	5.0
		施工上の課題に対する技術的所見		5点	0.0	2.5	2.5
		施工上の配慮すべき事項		—			
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	2.0	1.5	1.0
		工事成績		6点	1.5	4.5	3.0
		優良工事表彰		2点	0.0	1.0	2.0
		安全管理優良請負者表彰		—			
		イメージアップ優良工事表彰		—			
		関連分野での技術開発の実績		—			
	技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0	2.0	2.0
		配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	1.0	2.0	1.5
		配置予定技術者の工事成績		4点	2.0	3.0	3.0
		優良工事技術者表彰		2点	0.0	0.0	2.0
		技術者の専門技術力		5点	5.0	5.0	5.0
		当該工事の理解度・取り組み姿勢		5点	3.0	5.0	3.0
技術者のコミュニケーション力		5点	0.0	5.0	5.0		
合計点 (a)		53点	23.0	42.0	43.0		

加算方式	価格評価点 ( $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ )	—	16.7	10.0	6.7
	技術評価点 (aを20点換算)	—	8.7	15.8	16.2
	評価値 (価格評価点+技術評価点)	—	25.3	25.8	22.9
	入札結果	—	2位	1位(落札)	3位

除算方式	技術評価点 (標準点+加算点 (aを30点換算))	—	13.0	23.8	24.3
	評価値 (技術評価点/入札価格×10000)	—	4.52	4.58	4.44
	入札結果	—	2位	1位(落札)	3位

※加算方式は技術評価点を20点満点、除算方式は加算点を30点として算定。

(f) 技術資料の記入例

施工上の課題に係わる技術的所見

工事名：〇〇高架橋下部その1工事

会社名：□△建設(株)

<p>■施工上の課題</p>	<p>①近隣住民への騒音・振動対策について ②寒中コンクリートの品質管理について</p>
<p>項目</p>	<p>具体的な施工計画</p>
<p>①近隣住民への騒音・振動対策について</p>	<p>特記仕様書の「第22条」に基づく機械を使用することを原則とし、重機の移動等の際はスロットルを下げ低速で行うこととする。また、ダンプトラック等の工事関係車両は、場内では制限速度を10km/hとし待機時はアイドリングストップの励行を徹底する。</p>
<p>②寒中コンクリートの品質管理について</p>	<p>当該地域は、冬季には氷点下となる場合があり、寒中コンクリートとしての対策を検討する必要がある、以下のように計画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤を用いる。</li> <li>・ 配合試験により、単位水量を極力少なくする。</li> <li>・ 打ち込み温度は5~20℃で管理する。</li> <li>・ 初期凍害を受けなくなるまでの養生を実施する。 (圧縮強度5N/mm<sup>2</sup>が得られるまでの期間、温度は5℃以上)</li> <li>・ 特に風に当たらないよう、シート等で養生する。</li> </ul>

## 工 程 表

工事名：〇〇高架橋下部その1工事

会社名： □ △ 建 設 (株)

項 目	単 位	数 量	3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		
			10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	
橋梁下部 RC橋脚工	式	1																									
排水構造物工	式	1																									
雑工 銘版設置	式	1																									
仮設工 工事用道路工	式	1																									
舗装 切廻し道路工	式	1																									
共通仮設工	式	1																									

**■工程管理に係わる技術的所見**

- ・本工事に関連する隣接工区の施工期間がほぼ同じであり、他工事業者と綿密に工程調整を実施し責任範囲を明確にする等、トラブル防止に努める必要がある。
- ・用地未処理部分や河川管理者との協議が完了していない等、着工当初は施工出来るエリアが限定されるため、後半に計画されるRC橋脚工の工程が圧迫されると想定されるが、2パーティの班編成とし隣り合う橋脚を同時に施工する計画とする。

(3) 事例5：アスファルト舗装工事

(a) 工事の概要

本工事は、わだち掘れ等の路面性状が悪化したため、延長700m、面積3,500㎡の打替を行うものであり、工期及び工事概要等は次のとおりである。

施工箇所：市道〇号線

工期：契約翌日から70日間

工事概要：・アスファルト舗装工  $t = 5 \text{ cm}$   $A = 3,500 \text{ m}^2$

・舗装版撤去  $A = 3,500 \text{ m}^2$

・区画線工  $L = 1,400 \text{ m}$

予定価格：¥10,000,000



(b) 施工上の技術的課題

アスファルト舗装工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
工事目的物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> 自動車専用道や交通量の多い道路等で走行性が求められる。
		<input type="checkbox"/> 市街地を通る道路等で低騒音が求められる。
社会的要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
	地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。
揮発性有機化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。	
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円未満の小規模工事である。
- 技術的課題の難易度：現場周辺の民家は少なく、交通規制についても夜間工事のため交通量が少ないことから、新工法等による対策を必要としないため、難易度は高くない。

以上より、小規模工事であることから、領域Ⅲとする。また、特別な課題ではないが、安全対策等の施工上の配慮すべき事項があることから「施工上の配慮すべき事項」に関して技術的な所見の提出を求め評価する。

(d) 評価項目と配点

評価項目		配点	備考							
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	[800] 点 ≤ 総合評定値						
			1.5	[600] 点 ≤ 総合評定値 < [800] 点						
			0.0	総合評定値 < [600] 点						
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—						
			施工量の把握の適切性	—						
		施工上の課題に対する技術的所見		—	明確な課題なし					
		施工上の配慮すべき事項		5点	5.0 配慮事項が的確であり、優れた工夫が見られる 2.5 現地環境を踏まえておりの確 0.0 その他					
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	2.0 直轄工事の実績あり 1.5 公団等の実績あり 1.0 都道府県の実績あり 0.5 市町村の実績あり 0.0 民間での実績あり					
				6点	6.0 [80] 点以上 4.5 [75] 点 ~ [80] 点未満 3.0 [70] 点 ~ [75] 点未満 1.5 [65] 点 ~ [70] 点未満 0.0 [65] 点未満					
					2点	2.0 局長表彰の実績あり 1.0 事務所長表彰の実績あり 0.0 表彰の実績なし				
						安全管理優良請負者表彰	—	表彰制度なし		
						イメージアップ優良工事表彰	—	表彰制度なし		
		関連分野での技術開発の実績			—					
		技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0 1級土木施工管理技士または技術士 0.0 2級土木施工管理技士				
			配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	2.0 直轄工事の実績あり 1.5 公団等の実績あり 1.0 都道府県の実績あり 0.5 市町村の実績あり 0.0 民間での実績あり				
						4点	4.0 [80] 点以上 3.0 [75] 点 ~ [80] 点未満 2.0 [70] 点 ~ [75] 点未満 1.0 [65] 点 ~ [70] 点未満 0.0 [65] 点未満			
							2点	2.0 局長表彰の実績あり 1.0 事務所長表彰の実績あり 0.0 表彰の実績なし		
	技術者の専門技術力							—	ヒアリング	
	当該工事の理解度・取り組み姿勢							—	ヒアリング	
	技術者のコミュニケーション力		—	ヒアリング						

**【企業から提出を求める技術資料】**

- 施工上の配慮すべき事項
- 同種・類似工事の施工実績
- 配置予定技術者の資格
- 配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験

## (e) 評価結果

評価項目		配点	A社	B社	C社		
入札価格（千円）			9,800	9,300	9,100		
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	3.0	3.0	1.5	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—			
			施工量の把握の適切性	—			
		施工上の課題に対する技術的所見		—			
		施工上の配慮すべき事項		5点	5.0	2.5	2.5
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	2.0	1.5	0.5
		工事成績		6点	1.5	1.5	4.5
		優良工事表彰		2点	0.0	1.0	0.0
		安全管理優良請負者表彰		—			
		イメージアップ優良工事表彰		—			
		関連分野での技術開発の実績		—			
	技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0	2.0	1.0
		配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	1.5	1.0	0.5
		配置予定技術者の工事成績		4点	4.0	3.0	3.0
		優良工事技術者表彰		2点	1.0	2.0	0.0
		技術者の専門技術力		—			
		当該工事の理解度・取り組み姿勢		—			
		技術者のコミュニケーション力		—			
	③ 企業の信頼性・社会性	地理的条件	地域内での拠点の有無				
			近隣地域での施工実績				
災害協定等による地域貢献の実績							
ボランティア活動による地域貢献の実績		—					
障害者の雇用状況		—					
男女共同参画の状況		—					
労働福祉の状況		—					
地産品の使用状況		—					
合計点(a)		28点	20.0	17.0	13.5		

加算方式	価格評価点 ( $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ )	—	2.0	7.0	9.0
	技術評価点 (aを10点換算)	—	14.3	12.5	9.6
	評価値 (価格評価点+技術評価点)	—	16.3	19.5	18.6
	入札結果	—	3位	1位(落札)	2位

除算方式	技術評価点 (標準点+加算点 (aを10点換算))	—	14.3	12.5	9.6
	評価値 (技術評価点/入札価格×100)	—	1.17	1.210	1.205
	入札結果	—	3位	1位(落札)	2位

※加算方式は技術評価点を20点満点、除算方式は加算点を20点として算定。

(f) 技術資料の記入例

施工上配慮すべき事項に係わる技術的所見

工事名：市道〇号線舗装修繕工事

会社名：□△建設(株)

<p>■施工上の配慮事項</p>	<p>① 作業工程について ② 一般通行車両および歩行者に対する安全対策について</p>
<p>項 目</p>	<p>具 体 的 な 施 工 計 画</p>
<p>配慮事項の設定理由</p>	<p>当工事は夜間の現道上作業であることから、施工時における一般通行車両および歩行者への対処が重要となる。 また、舗装盤撤去～表層工の一連作業は日々完結し、昼間は交通解放しなければならない。 以上の理由により、上記に示す2つの項目を配慮事項とする。</p>
<p>①作業工程について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 迂回路案内や片側交互通行による車線規制の通知については、作業区間および日時を明確に示し、近隣への事前周知を徹底します。なお、近隣に対する周知徹底については工事全体の工程表、月間工程表、週間作業予定表を作成し、要所に掲示するとともに自治会への報告等を行います。</li> <li>➢ 工程計画の立案については、以下に示す理由により100m/日（夜間通行止め全面作業）で設定します。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舗装版撤去～表層工という一連の作業を原則、一日の夜間作業で完結させる。</li> <li>・ 車線規制解除後、一般車両の通行により舗装面が悪化しないように、解放温度を確保できる所用時間を見越す。</li> </ul> </li> </ul>
<p>②一般通行車両および歩行者に対する安全対策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 夜間作業における作業帯の設置については、一般車両への注意喚起を促すために、内照式のカラーコーンおよびチューブライトを使用します。</li> <li>➢ 合材の搬入車両が現場付近に滞留しないように、随時プラントと連絡をとり、出荷時間の管理を行います。また、現場内への運搬経路および進入箇所を運転手へ周知徹底します。</li> <li>➢ 作業途中からの降雨により作業の中止を余儀なくされた場合の対処としては、既設舗装面との段差のすりつけ等の処理を行い、「段差あり」等の標識を設置します。</li> </ul>

#### (4) 事例6：護岸工事

##### (a) 工事の概要

本工事は、護岸工事を行うものであり、工期及び工事概要等は次のとおりである。

施工箇所：○△県○□地先△◇川右岸（施工延長L＝70m）

工 期：契約翌日から200日間

工事概要：・積ブロック工 A＝80㎡  
・張ブロック工 A＝50㎡  
・平張ブロック工 A＝600㎡

予定価格：¥25,000,000

(b) 施工上の技術的課題

護岸工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
総合的なコスト	補償	<input type="checkbox"/> 補償を要する工事で工期の短縮が補償費の削減につながる。
工事目的物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> 特別な材料・品質・出来形管理が求められる。
		<input type="checkbox"/> 施工数量により、設備の機能・性能が向上する。
社会的要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
	地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。
揮発性有機化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。	
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円未満の中小規模工事である。
- 技術的課題の難易度：非出水期内の確実な施工が求められるが、新工法等が必要となるような技術的課題ではないことから、難易度は高くない。

以上より、中小規模工事で技術的課題の難易度が低いことから領域Ⅲとし、「工程管理に係わる技術的所見」の提出を求め評価する。

(d) 評価項目と配点

評価項目			配点	備考			
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評価値	3点	3.0	[800]点 ≤ 総合評価値		
				1.5	[600]点 ≤ 総合評価値 < [800]点		
				0.0	総合評価値 < [600]点		
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	5点	5.0	施工計画の実施手順が適切であり、優れた工夫が見られる	
					2.5	施工計画の実施手順が適切	
					0.0	その他	
		施工上の課題に対する技術的所見	—	—	5.0	各工程の工期が適切であり、優れた工期短縮が見られる	
					2.5	各工程の工期が適切	
					0.0	その他	
	施工上の配慮すべき事項		—	—	明確な課題なし		
	施工上の配慮すべき事項		—	—	配慮すべき事項なし		
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績	—	2点	2.0	直轄工事の実績あり	
					1.5	公団等の実績あり	
					1.0	都道府県の実績あり	
					0.5	市町村の実績あり	
					0.0	民間での実績あり	
		工事成績		—	—	工事成績データなし	
		優良工事表彰	—	—	2点	2.0	局長表彰の実績あり
	1.0					事務所長表彰の実績あり	
	0.0					表彰の実績なし	
安全管理優良請負者表彰		—	—	表彰制度なし			
イメージアップ優良工事表彰		—	—	表彰制度なし			
関連分野での技術開発の実績		—	—				
技術者の能力	配置予定技術者の資格	—	2点	2.0	1級土木施工管理技士または技術士		
				0.0	2級土木施工管理技士		
	配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験	—	—	2点	2.0	直轄工事の実績あり	
					1.5	公団等の実績あり	
					1.0	都道府県の実績あり	
					0.5	市町村の実績あり	
					0.0	民間での実績あり	
	配置予定技術者の工事成績		—	—	工事成績データなし		
	優良工事技術者表彰	—	—	2点	2.0	局長表彰の実績あり	
					1.0	事務所長表彰の実績あり	
0.0					表彰の実績なし		
技術者の専門技術力		—	—	ヒアリング			
当該工事の理解度・取り組み姿勢		—	—	ヒアリング			
技術者のコミュニケーション力		—	—	ヒアリング			
③ 企業の信頼性・社会性	地理的条件	地域内での拠点の有無	—				
		近隣地域での施工実績	—				
	災害協定等による地域貢献の実績		—				
	ボランティア活動による地域貢献の実績		—				
	障害者の雇用状況		—				
	男女共同参画の状況		—				
	労働福祉の状況		—				
地産品の使用状況		—					



**【企業から提出を求める技術資料】**

- 工程管理に係わる技術的所見
- 同種・類似工事の施工実績
- 配置予定技術者の資格
- 配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験

## (e) 評価結果

評価項目		配点	A社	B社	C社		
入札価格（千円）			19,000	22,000	23,000		
② 施工の 確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	1.5	3.0	1.5	
	施工計 画	工程管理 に係わる 技術的所 見	施工計画の実施手順の妥当性	5点	2.5	5.0	5.0
			施工量の把握の適切性	5点	0.0	5.0	5.0
		施工上の課題に対する技術的所見		—			
		施工上の配慮すべき事項		—			
	企業の 技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	1.0	1.5	2.0
		工事成績		—			
		優良工事表彰		2点	0.0	2.0	0.0
		安全管理優良請負者表彰		—			
		イメージアップ優良工事表彰		—			
		関連分野での技術開発の実績		—			
	技術者 の能力	配置予定技術者の資格		2点	1.0	2.0	2.0
		配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	1.0	2.0	2.0
		配置予定技術者の工事成績		—			
		優良工事技術者表彰		2点	0.0	1.0	0.0
		技術者の専門技術力		—			
		当該工事の理解度・取り組み姿勢		—			
		技術者のコミュニケーション力		—			
③ 企業の 信頼性・ 社会性	地理的 条件	地域内での拠点の有無					
		近隣地域での施工実績					
	災害協定等による地域貢献の実績						
	ボランティア活動による地域貢献の実績		—				
	障害者の雇用状況		—				
	男女共同参画の状況		—				
	労働福祉の状況		—				
地産品の使用状況		—					
合計点 (a)		23点	7.0	21.5	17.5		
加 算 方 式	価格評価点 ( $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ )		—	24.0	12.0	8.0	
	技術評価点 (a を 20 点換算)		—	6.1	18.7	15.2	
	評価値 (価格評価点+技術評価点)		—	30.1	30.7	23.2	
	入札結果		—	2位	1位(落札)	3位	
除 算 方 式	技術評価点 (標準点+加算点 (a を 30 点換算))		—	9.1	28.0	22.8	
	評価値 (技術評価点/入札価格×1000)		—	5.74	5.82	5.34	
	入札結果		—	2位	1位(落札)	3位	

※加算方式は技術評価点を 20 点満点、除算方式は加算点を 30 点として算定。

(f) 技術資料の記入例

工 程 表

工事名：△◇川右岸河川改修工事

会社名：(株) □ □ 組

項 目	単 位	数 量	10月		11月		12月		1月		2月		3月		備 考
			10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	
準備工 準備・後片付け	式	1	■												現場事務所の設置 除草、測量、 資材発注準備 等
土工	式	1			■		■		■						基礎掘削 法面整形 低水敷整地
護岸工					■										基礎：3日 積工：1日/段×8段
積ブロック工	m <sup>2</sup>	140.0			■										
平張ブロック工	m <sup>2</sup>	600.0					基礎	張り	■						
張ブロック工	m <sup>2</sup>	70.0							基礎	■					
仮設工	式	1			■		撤去								進入路設置 仮締め切り・水替え等

■ 工程管理に係わる技術的所見

- ・ 非出水期（11月～）までの期間は、準備工として丁張り作業等を実施する。
- ・ 非出水期に入り次第、積ブロック工より着手し、年末年始休暇に入る前に仮締め切りの状態を解放出来るようにする。
- ・ 同様に法面は整形・砕石基面までを年内に完了させ、堰堤を安定させた状態で年末年始休暇を迎える。
- ・ 低水敷きの張ブロック工の砕石基面は、法面の平張りブロック工が一定高さまで完了した時点で実施する。

事前に張ブロックの下地を造っておくことにより、張ブロック工と平張ブロック工の進行をラップさせることが可能となり、工期短縮につながる。（但し、上下作業が無いように施工箇所の管理を行うことが必要）

(5) 事例7：土工事

(a) 工事の概要

本工事は、〇〇川左岸の築堤を行うものであり、工期及び工事概要等は次のとおりである。

施工箇所：〇△県〇□地先（ $L = 100\text{m}$ ）

工 期：契約翌日から120日間

工事概要：・築堤工  $L = 120\text{m}$

・築堤盛土  $V = 6,000\text{m}^3$

・植生工（張芝）  $A = 180\text{m}^2$

・植生工（筋芝）  $A = 700\text{m}^2$

予定価格：¥9,000,000

(b) 施工上の技術的課題

土工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
工事目的物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> 特別な材料・品質・出来形管理が求められる。
		<input type="checkbox"/> 施工数量により、設備の機能・性能が向上する。
社会的要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
	地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。
	揮発性有機化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円未満の小規模工事である。
- 技術的課題の難易度：特段の課題はなく、難易度は高くない。

以上より、特に小規模であり技術的課題の難易度が低いことから、領域Ⅲとする。また、本工事の実施にあたって、特別な課題や配慮すべき事項はないことから、施工計画に関する技術的所見は求めないものとする。

(d) 評価項目と配点

評価項目		配点	備考			
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	3.0	[800]点 ≤ 総合評定値	
				1.5	[600]点 ≤ 総合評定値 < [800]点	
				0.0	総合評定値 < [600]点	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—		
			施工量の把握の適切性	—		
		施工上の課題に対する技術的所見		—	明確な課題なし	
		施工上の配慮すべき事項		—	配慮すべき事項なし	
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績	—	2点	2.0	直轄工事の実績あり
					1.5	公団等の実績あり
					1.0	都道府県の実績あり
					0.5	市町村の実績あり
					0.0	民間での実績あり
		工事成績		—	工事成績データなし	
		優良工事表彰	—	2点	2.0	局長表彰の実績あり
					1.0	事務所長表彰の実績あり
	0.0				表彰の実績なし	
	安全管理優良請負者表彰		—	表彰制度なし		
	イメージアップ優良工事表彰	—	2点	2.0	局長表彰の実績あり	
				1.0	事務所長表彰の実績あり	
				0.0	表彰の実績なし	
関連分野での技術開発の実績		—				
技術者の能力	配置予定技術者の資格	—	2点	2.0	1級土木施工管理技士または技術士	
				0.0	2級土木施工管理技士	
	配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験	—	2点	2.0	直轄工事の実績あり	
				1.5	公団等の実績あり	
				1.0	都道府県の実績あり	
				0.5	市町村の実績あり	
	配置予定技術者の工事成績		—	工事成績データなし		
	優良工事技術者表彰	—	2点	2.0	局長表彰の実績あり	
				1.0	事務所長表彰の実績あり	
	技術者の専門技術力		—	ヒアリング		
当該工事の理解度・取り組み姿勢		—	ヒアリング			
技術者のコミュニケーション力		—	ヒアリング			
③ 企業の信頼性・社会性	地理的条件	地域内での拠点の有無		—		
		近隣地域での施工実績		—		
	災害協定等による地域貢献の実績		—			
	ボランティア活動による地域貢献の実績		—			
	障害者の雇用状況		—			
	男女共同参画の状況		—			
	労働福祉の状況		—			
地産品の使用状況		—				

**【企業から提出を求める技術資料】**

- 同種・類似工事の施工実績
- 配置予定技術者の資格
- 配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験

## (e) 評価結果

評価項目		配点	A社	B社	C社		
入札価格(千円)			7,200	7,200	8,600		
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	0.0	3.0	1.5	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—			
			施工量の把握の適切性	—			
		施工上の課題に対する技術的所見		—			
		施工上の配慮すべき事項		—			
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	0.5	1.5	1.0
		工事成績		—			
		優良工事表彰		2点	0.0	1.0	2.0
		安全管理優良請負者表彰		—			
		イメージアップ優良工事表彰		2点	0.0	1.0	2.0
		関連分野での技術開発の実績		—			
	技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0	2.0	2.0
		配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	0.5	1.5	2.0
		配置予定技術者の工事成績		—			
		優良工事技術者表彰		2点	0.0	0.0	2.0
		技術者の専門技術力		—			
		当該工事の理解度・取り組み姿勢		—			
		技術者のコミュニケーション力		—			
	③ 企業の信頼性・社会性	地理的条件	地域内での拠点の有無				
			近隣地域での施工実績				
災害協定等による地域貢献の実績							
ボランティア活動による地域貢献の実績		—					
障害者の雇用状況		—					
男女共同参画の状況		—					
労働福祉の状況		—					
地産品の使用状況		—					
合計点(a)		15点	3.0	10.0	12.5		

加算方式	価格評価点 ( $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ )	—	20.0	20.0	4.4
	技術評価点(aを10点換算)	—	2.0	6.7	8.3
	評価値 (価格評価点+技術評価点)	—	22.0	26.7	12.8
	入札結果	—	2位	1位(落札)	3位

除算方式	技術評価点 (標準点+加算点(aを10点換算))	—	2.0	6.7	8.3
	評価値 (技術評価点/入札価格 $\times 100$ )	—	1.42	1.48	1.26
	入札結果	—	2位	1位(落札)	3位

※加算方式は技術評価点を10点満点、除算方式は加算点を10点として算定。



(6) 事例8：水路・管路工事

(a) 工事の概要

本工事は、農業用の用排水路の設置を行うものであり、工期及び工事概要等は次のとおりである。

施工箇所：○△県○□地先（施工延長L＝120m）

工 期：契約翌日から90日間

工事概要：・土工 1式

・ 水路工（排水フリーム W1200、H1000）

L＝120m

・ 接続柵工 3箇所

・ 流入工 2m

予定価格：¥9,000,000

(b) 施工上の技術的課題

水路・管路工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
工事目的物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> 特別な品質管理・出来形管理が求められる。
社会的要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
	地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。
揮発性有機化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。	
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円未満の小規模工事である。
- 技術的課題の難易度：現道作業が発生するが、交通量も少なく一般的な作業帯の設置による施工が可能であり、難易度は高くない。

以上より、特に小規模であり技術的課題の難易度が低いことから、領域Ⅲとする。また、本工事の実施にあたって、特別な課題や配慮すべき事項はないことから、施工計画に関する技術的所見は求めないものとする。

(d) 評価項目と配点

市内にフリューム製造業者があることから、購買先について評価する。

評価項目		配点	備考		
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	3.0 [800]点 ≤ 総合評定値	
			1.5	[600]点 ≤ 総合評定値 < [800]点	
			0.0	総合評定値 < [600]点	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—	
			施工量の把握の適切性	—	
		施工上の課題に対する技術的所見		—	明確な課題なし
		施工上の配慮すべき事項		—	配慮すべき事項なし
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	2.0 直轄工事の実績あり
				1.5	公団等の実績あり
				1.0	都道府県の実績あり
				0.5	市町村の実績あり
				0.0	民間での実績あり
		工事成績		6点	6.0 [80]点以上
				4.5	[75]点 ~ [80]点未満
				3.0	[70]点 ~ [75]点未満
	優良工事表彰		2点	2.0 局長表彰の実績あり	
			1.0	事務所長表彰の実績あり	
	安全管理優良請負者表彰		—	表彰制度なし	
			2点	2.0 局長表彰の実績あり	
	イメージアップ優良工事表彰		2点	1.0 事務所長表彰の実績あり	
			0.0	表彰の実績なし	
	関連分野での技術開発の実績		—		
	技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0 1級土木施工管理技士または技術士
				0.0	2級土木施工管理技士
配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験			2点	2.0	直轄工事の実績あり
				1.5	公団等の実績あり
				1.0	都道府県の実績あり
				0.5	市町村の実績あり
				0.0	民間での実績あり
配置予定技術者の工事成績			4点	4.0	[80]点以上
				3.0	[75]点 ~ [80]点未満
				2.0	[70]点 ~ [75]点未満
				1.0	[65]点 ~ [70]点未満
				0.0	[65]点未満
優良工事技術者表彰			2点	2.0	局長表彰の実績あり
	1.0			事務所長表彰の実績あり	
	0.0			表彰の実績なし	
技術者の専門技術力		—	ヒアリング		
当該工事の理解度・取り組み姿勢		—	ヒアリング		
技術者のコミュニケーション力		—	ヒアリング		

評価項目		配点	備考	
③ 企業の信頼性・社会性	地理的条 件	地域内での拠点の有無	—	
		近隣地域での施工実績		
	災害協定等による地域貢献の実績			
	ボランティア活動による地域貢献の実績		—	
	障害者の雇用状況		—	
	男女共同参画の状況		—	
	労働福祉の状況		—	
	地産品の使用状況(フリューム調達実績)		2点	2.0 0.0

【企業から提出を求める技術資料】

- 同種・類似工事の施工実績
- 配置予定技術者の資格
- 配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験
- 地産品の使用状況(フリューム調達実績)

## (e) 評価結果

評価項目			配点	A社	B社	C社	
入札価格(千円)				8,800	8,100	7,500	
② 施工の 確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	1.5	3.0	1.5	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—			
			施工量の把握の適切性	—			
		施工上の課題に対する技術的所見		—			
		施工上の配慮すべき事項		—			
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	2.0	1.0	1.5
		工事成績		6点	3.0	4.5	1.5
		優良工事表彰		2点	1.0	1.0	0.0
		安全管理優良請負者表彰		—			
		イメージアップ優良工事表彰		2点	1.0	1.0	0.0
		関連分野での技術開発の実績		—			
	技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0	2.0	1.0
		配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	2.0	1.5	0.5
		配置予定技術者の工事成績		4点	3.0	3.0	1.0
		優良工事技術者表彰		2点	1.0	1.0	0.0
		技術者の専門技術力		—			
		当該工事の理解度・取り組み姿勢		—			
		技術者のコミュニケーション力		—			
	③ 企業の 信頼性・ 社会性	地理的 条件	地域内での拠点の有無				
			近隣地域での施工実績				
災害協定等による地域貢献の実績							
ボランティア活動による地域貢献の実績		—					
障害者の雇用状況		—					
男女共同参画の状況		—					
労働福祉の状況		—					
地産品の使用状況		2点	2.0	2.0	0.0		
合計点(a)			27点	18.5	19.0	7.0	

加算 方式	価格評価点 ( $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ )	—	2.2	10.0	16.7
	技術評価点 (aを10点換算)	—	13.7	14.1	5.2
	評価値 (価格評価点+技術評価点)	—	15.9	24.1	21.9
	入札結果	—	3位	1位(落札)	2位

除算 方式	技術評価点 (標準点+加算点(aを10点換算))	—	13.7	14.1	5.2
	評価値 (技術評価点/入札価格×100)	—	1.29	1.41	1.40
	入札結果	—	3位	1位(落札)	2位

※加算方式は技術評価点を20点満点、除算方式は加算点を20点として算定。

(7) 事例9：維持修繕工事

(a) 工事の概要

本工事は、堤防の除草及び芝の養生・堆肥を行うものであり、工期及び工事概要等は次のとおりである。

施工箇所：○△県○□地先△◇川右岸

工 期：契約翌日から200日間

工事概要：・除草 A = 25万㎡

・養生工 A = 5000㎡

・施肥 1式

予定価格：¥7,000,000

(b) 施工上の技術的課題

維持修繕工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
工事目的 物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> 特別な材料・品質・出来形管理が求められる。
		<input type="checkbox"/> 施工数量により、設備の機能・性能が向上する。
社会的 要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
	地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。
揮発性有機化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。	
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円未満の小規模工事である。
- 技術的課題の難易度：技術的課題が存在しないため、難易度は高くない。

以上より、特に小規模であり技術的課題の難易度が低いことから、領域Ⅲとする。  
また、本工事の実施にあたって、特別な課題や配慮すべき事項はないことから、施工計画に関する技術的所見は求めないものとする。

(d) 評価項目と配点

評価項目		配点	備考			
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	3.0	[800]点 ≤ 総合評定値	
				1.5	[600]点 ≤ 総合評定値 < [800]点	
				0.0	総合評定値 < [600]点	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—		
			施工量の把握の適切性	—		
		施工上の課題に対する技術的所見		—	明確な課題なし	
		施工上の配慮すべき事項		—	配慮すべき事項なし	
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績	—	2点	2.0	直轄工事の実績あり
					1.5	公団等の実績あり
					1.0	都道府県の実績あり
					0.5	市町村の実績あり
					0.0	民間での実績あり
		工事成績		—	成績データなし	
		優良工事表彰		—	表彰制度なし	
	安全管理優良請負者表彰		—	表彰制度なし		
	イメージアップ優良工事表彰		—	表彰制度なし		
	関連分野での技術開発の実績		—			
	技術者の能力	配置予定技術者の資格	—	2点	2.0	1級土木施工管理技士または技術士
					0.0	2級土木施工管理技士
		配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験	—	2点	2.0	直轄工事の実績あり
1.5						公団等の実績あり
1.0						都道府県の実績あり
0.5						市町村の実績あり
0.0						民間での実績あり
配置予定技術者の工事成績		—	成績データなし			
優良工事技術者表彰		—	表彰制度なし			
技術者の専門技術力		—	ヒアリング			
当該工事の理解度・取り組み姿勢		—	ヒアリング			
技術者のコミュニケーション力		—	ヒアリング			
③ 企業の信頼性・社会性	地理的条件	地域内での拠点の有無	—			
		近隣地域での施工実績	—			
	災害協定等による地域貢献の実績		—			
	ボランティア活動による地域貢献の実績		—			
	障害者の雇用状況		—			
	男女共同参画の状況		—			
	労働福祉の状況		—			
地産品の使用状況		—				



**【企業から提出を求める技術資料】**

- 同種・類似工事の施工実績
- 配置予定技術者の資格
- 配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験

(f) 評価結果

評価項目		配点	A社	B社	C社		
入札価格（千円）			8,800	8,000	7,500		
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	1.5	3.0	1.5	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—			
			施工量の把握の適切性	—			
		施工上の課題に対する技術的所見		—			
		施工上の配慮すべき事項		—			
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	0.5	2.0	2.0
		工事成績					
		優良工事表彰					
		安全管理優良請負者表彰		—			
		イメージアップ優良工事表彰		—			
		関連分野での技術開発の実績		—			
	技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	1.0	2.0	1.0
		配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	0.5	1.5	2.0
		配置予定技術者の工事成績					
		優良工事技術者表彰					
		技術者の専門技術力		—			
		当該工事の理解度・取り組み姿勢		—			
		技術者のコミュニケーション力		—			
③ 企業の信頼性・社会性	地理的条件	地域内での拠点の有無					
		近隣地域での施工実績					
	災害協定等による地域貢献の実績						
	ボランティア活動による地域貢献の実績		—				
	障害者の雇用状況		—				
	男女共同参画の状況		—				
	労働福祉の状況		—				
地産品の使用状況		—					
合計点 (a)		9点	3.5	8.5	6.5		
加算方式	価格評価点 (100×(1-入札価格/予定価格))		—	18.6	14.3	11.4	
	技術評価点 (aを10点換算)		—	3.9	9.4	7.2	
	評価値 (価格評価点+技術評価点)		—	22.5	23.7	18.7	
	入札結果		—	2位	1位(落札)	3位	
除算方式	技術評価点 (標準点+加算点 (aを10点換算))		—	3.9	9.4	7.2	
	評価値 (技術評価点/入札価格×100)		—	1.823	1.824	1.729	
	入札結果		—	2位	1位(落札)	3位	

※加算方式は技術評価点を10点満点、除算方式は加算点を10点として算定。

(8) 事例10：水路・管路工事

(a) 工事の概要

本工事は、地方都市周辺部における市道（幅員6.0m）の側溝整備工事であり、工期及び工事概要等は次のとおりである。

施工箇所：市道〇号線（地方都市周辺部 L=79.5m）

工 期：契約翌日から120日間

工事概要：	・ 1号側溝工	133.3m
	・ 2号側溝工	20.0m
	・ 雨水柵設置工	8箇所
	・ 表層工（t=5）	477.7m <sup>2</sup>
	・ 路盤工	413.1m <sup>2</sup>
	・ 雑工	1式

予定価格：¥7,000,000

(b) 施工上の技術的課題

水路・管路工事における施工上の技術的課題の例

施工上の技術的課題		
工事目的物の性能・機能	性能・機能	<input type="checkbox"/> 特別な品質管理・出来形管理が求められる。
社会的要請	近接施工	<input type="checkbox"/> 鉄道営業線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 架空線があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 地下埋設物があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 民家があり、施工に配慮を要する。
		<input type="checkbox"/> 病院・学校等の重要施設があり、施工に配慮を要する。
	現道作業	<input type="checkbox"/> 施工にあたり交通規制が伴う。
		<input type="checkbox"/> 施工にあたり、歩行者の安全対策に配慮を要する。
	水質汚濁	<input type="checkbox"/> 水質汚濁防止の対策が必要。
		<input type="checkbox"/> 地下水遮断への対策が必要。
	振動・騒音	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、振動・騒音対策が必要。
	大気汚染	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、大気汚染対策が必要。
	臭気	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、臭気対策が必要。
	地盤沈下	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、地盤沈下対策が必要。
揮発性有機化合物	<input type="checkbox"/> 施工にあたり、ホルムアルデヒド等の揮発性有機化合物への対策が必要。	
環境	<input type="checkbox"/> 自然保護区域内や希少動植物への配慮が必要。	
その他課題・配慮事項		

(c) 領域の設定

- 工事規模：2億円未満の小規模工事である。
- 技術的課題の難易度：現道作業が発生するが、交通量も少なく一般的な作業帯の設置による施工が可能であり、難易度は高くない。

以上より、特に小規模であり技術的課題の難易度が低いことから、領域Ⅲとする。また、本工事の実施にあたって、特別な課題や配慮すべき事項はないことから、施工計画に関する技術的所見は求めないものとする。

(d) 評価項目と配点

現場付近は大雨時にしばしば冠水することから、緊急時の迅速な対応を可能とするため、企業の信頼性・社会性を評価項目として加えることとする。

評価項目		配点	備考			
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	3.0	[800]点 ≤ 総合評定値	
				1.5	[600]点 ≤ 総合評定値 < [800]点	
				0.0	総合評定値 < [600]点	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—		
			施工量の把握の適切性	—		
		施工上の課題に対する技術的所見		—	明確な課題なし	
		施工上の配慮すべき事項		—	配慮すべき事項なし	
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	2.0	直轄工事の実績あり
					1.5	公団等の実績あり
					1.0	都道府県の実績あり
					0.5	市町村の実績あり
					0.0	民間での実績あり
		工事成績		6点	6.0	[80]点以上
					4.5	[75]点 ~ [80]点未満
					3.0	[70]点 ~ [75]点未満
					1.5	[65]点 ~ [70]点未満
					0.0	[65]点未満
	優良工事表彰		—	表彰制度なし		
	安全管理優良請負者表彰		—	表彰制度なし		
	イメージアップ優良工事表彰		—	表彰制度なし		
関連分野での技術開発の実績		—				
技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0	1級土木施工管理技士または技術士	
				0.0	2級土木施工管理技士	
	配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	2.0	直轄工事の実績あり	
				1.5	公団等の実績あり	
				1.0	都道府県の実績あり	
				0.5	市町村の実績あり	
				0.0	民間での実績あり	
	配置予定技術者の工事成績		4点	4.0	[80]点以上	
				3.0	[75]点 ~ [80]点未満	
				2.0	[70]点 ~ [75]点未満	
				1.0	[65]点 ~ [70]点未満	
0.0				[65]点未満		
優良工事技術者表彰		—	表彰制度なし			
技術者の専門技術力		—	ヒアリング			
当該工事の理解度・取り組み姿勢		—	ヒアリング			
技術者のコミュニケーション力		—	ヒアリング			

評価項目		配点	備考		
③ 企業の信頼性・社会性	地理的条件	地域内での拠点の有無	3点	3.0	地域内に本店あり
				1.5	地域内に支店・営業所あり
				0.0	地域内に拠点なし
		近隣地域での施工実績	3点	3.0	施工実績あり
				0.0	施工実績なし
		災害協定等による地域貢献の実績	2点	2.0	活動実績あり
				0.0	活動実績なし
		ボランティア活動による地域貢献の実績	2点	2.0	活動実績あり
				0.0	活動実績なし
		障害者の雇用状況	—		
	男女共同参画の状況	—			
	労働福祉の状況	—			
	地産品の使用状況	—			

【企業から提出を求める技術資料】

- 同種・類似工事の施工実績
- 配置予定技術者の資格
- 配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験
- 地域内での拠点の有無
- 近隣地域での施工実績
- 災害協定等による地域貢献の実績
- ボランティア活動による地域貢献の実績

## (e) 評価結果

評価項目		配点	A社	B社	C社		
入札価格 (千円)			6,300	6,100	6,800		
② 施工の確実性	経営力	経営事項審査総合評定値	3点	3.0	1.5	3.0	
	施工計画	工程管理に係わる技術的所見	施工計画の実施手順の妥当性	—			
			施工量の把握の適切性	—			
		施工上の課題に対する技術的所見		—			
		施工上の配慮すべき事項		—			
	企業の技術力	同種・類似工事の施工実績		2点	2.0	1.5	1.0
		工事成績		6点	1.5	1.5	4.5
		優良工事表彰		—			
		安全管理優良請負者表彰		—			
		イメージアップ優良工事表彰		—			
		関連分野での技術開発の実績		—			
	技術者の能力	配置予定技術者の資格		2点	2.0	2.0	2.0
		配置予定技術者の同種・類似工事の施工経験		2点	1.0	1.0	2.0
		配置予定技術者の工事成績		4点	3.0	2.0	3.0
		優良工事技術者表彰		—			
		技術者の専門技術力		—			
		当該工事の理解度・取り組み姿勢		—			
		技術者のコミュニケーション力		—			
	③ 企業の信頼性・社会性	地理的条件	地域内での拠点の有無	3点	3.0	0.0	1.5
			近隣地域での施工実績	3点	3.0	0.0	3.0
災害協定等による地域貢献の実績		2点	2.0	0.0	2.0		
ボランティア活動による地域貢献の実績		2点	0.0	0.0	2.0		
障害者の雇用状況		—					
男女共同参画の状況		—					
労働福祉の状況		—					
地産品の使用状況		—					
合計点 (a)		29点	20.5	9.5	24.0		
加算方式	価格評価点 ( $100 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ )		—	10.0	12.9	2.9	
	技術評価点 (aを10点換算)		—	7.1	3.3	8.2	
	評価値 (価格評価点+技術評価点)		—	17.1	16.1	11.1	
	入札結果		—	1位(落札)	2位	3位	
除算方式	技術評価点 (標準点+加算点 (aを10点換算))		—	7.1	3.3	8.3	
	評価値 (技術評価点/入札価格×100)		—	1.70	1.69	1.59	
	入札結果		—	1位(落札)	2位	3位	

※加算方式は技術評価点を10点満点、除算方式は加算点を10点として算定。

## 参考5 技術資料作成要領例

### 技術資料作成要領

#### 1. 工事の概要

- (1) 工事名 ○○○○建設工事（電子入札対象案件）
- (2) 工事場所 ○○県○○市○○町○-○-○
- (3) 工事内容 本工事は、○○○を施工するものである。
- |          |                   |
|----------|-------------------|
| ○○工事（規模） | 1式                |
| ・○○工     | ○○○m <sup>2</sup> |
| ・○○工     | ○○m <sup>3</sup>  |
| ・○○工     | 1式                |
- (4) 工期 約○ヶ月
- (5) 本工事は入札時に施工計画等に関する技術資料を受け付け、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の適用工事である。
- (6) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務づけられた工事である。
- (7) 本工事は技術資料の提出、入札を電子入札システムで行う対象工事である。  
(略)
- (8) 設計業務等の受託者等
- ①技術資料の提出依頼についての掲示（以下「掲示」という。）○（□）の「工事に係る設計業務等の受託者」とは、次に掲げるものである。
- ・○○株式会社
- ②掲示○（□）の「当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある建設業者」とは、次の1）又は2）に該当する者である。
- 1）当該受託者の発行済み株式総数の100分の50を超える株式を有し、又はその出資の総額の100分の50を超える出資をしている建設業者。
  - 2）建設業者の代表権を有する役員が当該受託者の代表権を有する役員を兼ねている場合における当該建設業者。

#### 2. 技術資料の内容

作成する技術資料の内容は、次表のとおりとし、記載内容を証明する資料として、以下の①～③の書類を提出すること。

- ① 次表（3）～（4）の施工実績として記載した工事に係る契約書の写し。なお、契約書の写しは工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認できる部分のみでよ



い。ただし、財団法人日本建設情報総合センターの工事实績情報システム（以下「CORINS」という。）に登録されている場合は、契約書の写しを提出する必要はない。この場合、CORINS データの写しを添付することとする。

② 次表（３）～（４）の施工実績として記載した工事が平成〇年４月１日以降に完成した大臣官房官庁営繕部所掌の工事又は地方整備局所掌の工事（旧地方建設局所掌の工事を含み、港湾航空関係を除く。）である場合は、当該工事に係る工事成績評定通知書の写し。

③ 次表（４）の配置予定技術者に係る資格者証等の写し。なお、監理技術者資格者証については、裏面の写しも提出すること。

なお、申請する工事の完成・引き渡し年月日は、技術資料提出日以前のものとす

る。  
また、同種工事の施工実績の要件と配置予定技術者の施工経験の要件が異なる場合があるので、確認の上作成すること。

記載事項	内容に関する留意事項
(1) 工程管理に係わる技術的所見	①本工事の概略の実施手順及び工程を記入する。また、工程管理にあたっての配慮事項を工程表の下に記載する。 ②記載様式は様式－１とする。
(2) 施工上の課題に係わる技術的所見	①本工事の実施にあたっては、「〇〇対策」及び「△△の品質管理」に留意して施工を行う必要がある。現場状況を踏まえて、２つの課題に対する対策等を記載する。 ②記載様式は様式－２とする。
(3) 同種工事の施工実績	①施工実績は、平成〇年から技術資料提出期限までに完成し、引き渡し完了した工事の中から代表的なものを１件記載する。 ②施工実績は国土交通省、他省庁、公団等、都道府県、市町村の発注機関の順序で優先して選択する。 ③共同企業体としての施工実績は、出資比率 20%以上のものに限定する。 ④同種工事とは、延長〇〇m、面積〇〇㎡以上の〇〇工事とする。 ⑤記入要領 ・工事名称：受注工事名とする。 ・発注機関名：具体的に記入する。 ・施工場所：具体的に記入する。 ・契約金額：百万円単位とし、小数第 2 位まで記入（切り捨て） ・工期：契約の翌日から工事完了までの年月を記入 ・受注形態：単体、共同企業体の別を記入する。共同企業体の場合は出資比率も記入する。 ・表彰：優良工事表彰（工事の出来映え・品質に関する表彰に限る。）を

	<p>受けている工事を申請する場合は、表彰名、工事名、表彰者及び表彰年月日が確認できるものを添付すること。</p> <p>⑥記載する工事は、可能な限り工事実績情報システム（CORINS）に登録されている工事から選定すること。この場合、CORINS データの写しを添付することとする。CORINS に登録されていない場合は、契約書の写し及び④に示した内容を判断できる資料を添付すること。</p> <p>⑦記載様式は様式－3とする。</p>
<p>(4) 配置予定 技術者の資格・ 施工経験・ 工事成績</p>	<p>①主任（監理）技術者は、予定者の氏名等を記載する。なお、技術資料提出時に配置予定技術者が特定できない場合は、資格等の要件を満たす複数の候補者を記入することができる。その場合、審査については、各候補者のうち資格等の評価が最も低い者で評価する。また、実際の施工にあたって技術資料に記載した配置予定技術者を変更できるのは、病気、死亡、退職等の極めて特別な場合に限る。</p> <p>②主任（監理）技術者は、1級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者とする。ここで、同等以上の資格を有する者とは、建設業法第15条第2号で定めている者のうち1級土木施工管理技士以外の者とする。また、監理技術者にあつては、当該工事種別の監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずる者であること。なお、「これに準ずる者」とは、以下の者をいう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成〇年〇月〇日以前に交付を受けた監理技術者資格者証を有する者。</li> <li>・平成〇年〇月〇日以前に監理技術者講習を受けた者であつて、平成〇年〇月〇日以後に監理技術者資格者証の交付を受けた者である場合には、監理技術者資格者証及び指定講習受講修了証を有する者。</li> </ul> <p>③施工経験は、平成〇年から技術資料提出期限までに完成し、引き渡し完了した工事の中から代表的なものを1件記載する。</p> <p>④施工経験は国土交通省、他省庁、公団等、都道府県、市町村の発注機関の順序で優先して選択する。</p> <p>⑤工事成績は国土交通省発注工事において、平成〇年から監理技術者若しくは主任技術者として実施した工事の工事成績評定点を記載する。</p> <p>⑥共同企業体としての施工経験は、出資比率20%以上のものに限定する。</p> <p>⑦同種工事とは、延長〇〇m、面積〇〇㎡以上の〇〇工事とする。</p> <p>⑧記入要領</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氏名：氏名を記入する。</li> <li>・資格：保有資格を記入する。（複数ある場合、複数記入）</li> <li>・工事名称：受注工事名とする。</li> <li>・発注機関名：具体的に記入する。</li> <li>・施工場所：具体的に記入する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約金額：百万円単位とし、小数第2位まで記入（切り捨て）</li> <li>・ 工期：契約の翌日から工事完了までの年月を記入</li> <li>・ 受注形態：単体、共同企業体の別を記入する。共同企業体の場合は出資比率も記入する。</li> <li>・ 表彰：配置予定技術者が、平成〇年4月1日以降〇〇地方整備局（港湾空港関係を除く。）発注工事において技術者表彰（局長表彰・事務所長表彰）を受けている場合は表彰名、工事名、表彰者及び表彰年月日を記載する。</li> </ul> <p>⑨記載する工事は、可能な限り工事実績情報システム（CORINS）に登録されている工事から選定すること。この場合、CORINS データの写しを添付することとする。CORINS に登録されていない場合は、契約書の写し及び⑦に示した内容を判断できる資料を添付すること。</p> <p>⑩記載様式は様式－4とする。</p>
--	---

### 3. 技術資料の提出

- (1) 技術資料は電子入札システムで提出すること。ただし、発注者の承諾を得て紙入札方式による場合は、次の受付期間及び受付場所に持参するものとし、郵送又は電送（ファクシミリ）によるものは受け付けない。
  - ・ 電子入札システムによる受付期間： (略)
  - ・ 持参による受付期間： (略)
  - ・ 受付場所： (略)
- (2) 提出書類は表紙を1頁とした通し番号を付するとともに全頁数を表示すること。（頁の例：1/〇〇～〇〇/〇〇）ただし、紙入札方式の場合は、「袋とじ」で提出すること。また提出部数は1部とする。
- (3) 技術資料提出の際には、返信用封筒として、表に技術資料提出者の住所・氏名を記載した長3号封筒（切手は不要）を提出すること。ただし、電子入札システムで提出した場合は不要。
- (4) 電子入札システムにより技術資料を提出する場合は以下に留意すること。  
(略)

### 4. 指名業者選定における技術資料の審査に関する事項

指名業者選定における技術審査の評価項目及び選定の着目点は以下のとおりとする。また、2.(3)の同種工事の施工実績及び2.(4)配置予定技術者の工事経験の確認にあたっては、効力を有する政府調達に関する協定を適用している国及び地域並びに我が国に対して建設市場が開放的であると認められる国及び地域以外の国又は地域（以下「協定非適用国」という。）に主たる営業所を有する建設業者又は我が国に主たる営業所を有する建設業者のうち協定非適用国に主たる営業所を有する者が当該建設業者の資本金の額の2分の

1以上を出資しているものにあつては、我が国における同種工事の施工実績、近隣地域内工事の施工実績及び配置予定技術者の工事経験をもって行う。

評価項目	選 定 の 着 目 点
(1) 手持工事の状況	〇〇地方整備局（港湾空港関係を除く。）発注工事（本局及び事務所発注工事、以下同じ。）で、当該工事と同じ工事種別の工事（以下「当該工種工事」という。）における平成〇〇年度受注額と当該工種工事における平成□年度より平成△年度までの平均受注額との比率（受注額には国債工事の当該年度の年割額、繰越工事の受注額のうち4割（発注年度）又は6割（繰越年度）、JV工事に係る受注額は出資比率により分割したものを含む。）
(2) 施工実績	平成〇年4月1日以降の同種工事の施工実績及び同種工事で公団等又は都道府県の実績で申請した工事の優良工事表彰（工事の出来映え・品質に関する表彰に限る。）の有無 ただし、経常建設共同企業体にあつては、構成員のうち1社が元請けとして2.(1)②ア)の同種工事の施工実績をすること。
(3) 技術者評価	①主任（監理）技術者の資格、同種工事における主任（監理）技術者又は現場代理人の経験の有無及び申請時における他工事の従事状況等（ただし、経常建設共同企業体にあつては、1社の主任（監理）技術者が同種工事の経験を有していればよい。） ②主任（監理）技術者としての〇〇地方整備局（港湾空港関係を除く。）発注工事における平成〇年度より平成□年度までの工事成績 ③平成〇年4月1日以降の〇〇地方整備局（港湾空港関係を除く。）発注工事における技術者表彰の有無
(4) 安全管理等の状況	①審査基準日における安全管理の状況及び不誠実な行為の有無 ②当該工種工事における建設工事の安全管理に関する表彰の有無
(5) 当該年度指名	平成〇年度〇〇地方整備局（港湾空港関係を除く。）発注工事の指名競争入札方式により指名された当該工種工事における指名回数
(6) 工事成績	①〇〇地方整備局（港湾空港関係を除く。）発注工事の当該工種工事における平成〇年度より平成□年度までの工事成績 ②〇〇地方整備局（港湾空港関係を除く。）発注工事の当該工種工事における平成〇年度から平成□年度までに表彰を受けた優良工事表彰の有無
(7) 施工計画	工程管理に係わる技術的所見及び施工上の課題に係わる技術的所見が適切であること。

5. 総合評価に関する事項（除算方式の場合）

(1) 総合評価の方法

- 1) 共通仕様書、特記仕様書及び関係法令を遵守し、一般的な施工機械により施工（国土交通省土木工事標準積算基準書に基づくものを想定）及び監理する方法を用いて作業を行うものに標準点を与え、さらに「施工の確実性」の観点から技術資料の内容等に応じ、次の方法により加算点を与える。なお、標準点を100点とし、加算点の最高点数は30点とする。
- 2) 価格及び「施工の確実性」に係る総合評価は、標準点と下記（2）によって得られる加算点の合計を当該入札参加者の入札価格で除して得た数値をもって行う。

(2) 評価基準

提出された技術資料の「施工計画」及び「同種工事の施工実績」、「配置予定技術者の資格・経験」について各々下記の評価基準に基づき加点する。

- ・ 考査項目 施工の確実性（施工計画、企業の技術力、技術者の能力）

表 「施工の確実性」における評価基準

評価の視点	評価項目	評価内容	評価基準	得点	
施工計画	工程管理に係わる技術的所見 (工程表)	施工計画の実施手順の妥当性	施工計画の実施手順が適切であり、優位な工夫が見られる	[4.0]	[4.0]
			施工計画の実施手順が適切	[2.0]	
			その他	[0.0]	
		施工量の把握の適切性	各工程の工期が適切であり、優位な工期短縮が見られる	[4.0]	[4.0]
			各工程の工期が適切	[2.0]	
			その他	[0.0]	

施工計画	〇〇対策に係わる技術的所見	発注者が指定した特定の課題への対応の的確性（与条件との整合性・理解度・対応方針の裏付け等）	課題への対応が現地の環境条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて的確に図られ、優れた工夫が見られる	[4.0]	[4.0]
			課題への対応が現地の環境条件を踏まえておりの確	[2.0]	
			その他	[0.0]	
	△△の品質管理に係わる技術的所見	発注者が指定した特定の課題への対応の的確性（与条件との整合性・理解度・対応方針の裏付け等）	課題への対応が現地の環境条件（地形、地質、環境、地域特性等）を踏まえて的確に図られ、優れた工夫が見られる	[4.0]	[4.0]
			課題への対応が現地の環境条件を踏まえておりの確	[2.0]	
			その他	[0.0]	
企業の技術力	同種・類似工事の施工実績	過去 [5] 年間の施工実績	直轄工事の実績あり	[2.0]	[2.0]
			公団等の実績あり	[1.5]	
			都道府県の実績あり	[1.0]	
			市町村の実績あり	[0.5]	
			民間での実績あり	[0.0]	
	工事成績	過去 [2] 年間の工事成績評定点の平均点 ・全ての工事成績評定点の平均点 または ・特定の工種に係わる工事の工事成績評定点の平均点	[80] 点以上	[4.0]	[4.0]
			[75] 点～ [80] 点未満	[3.0]	
			[70] 点～ [75] 点未満	[2.0]	
			[65] 点～ [70] 点未満	[1.0]	
			[65] 点未満	[0.0]	

企業の技術力	優良工事表彰	過去〔2〕年間の優良工事表彰（局長・所長等の表彰）の有無	表彰の実績あり	[1.0]	[1.0]
			表彰の実績なし	[0.0]	
技術者の能力	主任（監理）技術者の同種・類似工事の施工経験	過去〔5〕年間の技術者の施工経験の有無	直轄工事の実績あり	[2.0]	[2.0]
			公団等の実績あり	[1.5]	
			都道府県等の実績あり	[1.0]	
			市町村の実績あり	[0.5]	
			民間での実績あり	[0.0]	
	技術者の工事成績	過去〔2〕年間の技術者が担当した工事成績評定点の平均点	[80] 点以上	[4.0]	[4.0]
			[75] 点～ [80] 点未満	[3.0]	
			[70] 点～ [75] 点未満	[2.0]	
			[65] 点～ [70] 点未満	[1.0]	
			[65] 点未満	[0.0]	
優良工事技術者表彰	過去〔2〕年間の優良工事技術者表彰（局長・所長等の表彰）の有無	表彰の実績あり	[1.0]	[1.0]	
		表彰の実績なし	[0.0]		
配 点 計					[30]

### (3) 落札者の決定方法

- 1) 入札参加者は、価格及び技術資料をもって入札し、次の(ア)、(イ)の要件に該当する者のうち(1)「総合評価の方法」によって得られた数値（以下「評価値」という。）の最も高い者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは(ア)、(イ)の要件に該当する入札をした他の者のうち評価値の最も高い者を落札者とすることがある。

(ア) 入札価格が予定価格の制限の範囲内であること。

(イ) 評価値が、標準点（100点）を予定価格で除した数値を下回らないこと。

- 2) 1)において、評価値の最も高い者が2者以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決定する。

### (4) 技術的所見に記載された対策等に関し、受注者の責により入札時の評価内容が満足

できない場合は、工事成績評定を減ずることとし、未実施の評価項目ごとに5点減ずる。

#### 6. 契約変更の取扱

契約締結後、条件変更等不可抗力な状況が発生した場合は、契約変更の対象とし、技術的所見に基づき作成された施工計画の内容の見直しを行うものとする。

#### 7. 技術資料作成に関する説明会

技術資料作成に関する説明会は実施しない。

#### 8. 技術資料のヒアリング

技術資料のヒアリングは実施しない。

#### 9. 苦情申立て

(略)

#### 10. 再苦情申立て

(略)

#### 11. 実施上の留意事項

- (1) 技術資料の作成及び提出に要する費用は、資料の提出者の負担とする。
- (2) 提出された資料は、当所において無断使用を行わない。
- (3) 技術資料に虚偽の記載をした者は、「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領(昭和59年3月29日 建設省厚第91号)」に基づく指名停止措置を行うことがある。  
また、資料に虚偽の記載をした者のした入札並びに説明事項及び別冊〇〇地方整備局競争契約入札心得において示した条件等入札に関する条件に違反した入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には落札決定を取り消す。
- (4) 技術資料の審査及び指名審査の審査基準日は指名通知の日とし、指名停止中の者からも技術資料を受け付ける。指名通知の日は平成〇年〇月〇日(〇)を予定する。
- (5) 提出された技術資料の差し替えは、誤記の訂正等軽微なものに限り、提出の日を含め3日(休日を含まない。)以内とする。ただし、電子入札システムで技術資料受付票の発行がなされた技術資料の差し替えは、発注者の承諾を得て持参して差し替えること。
- (6) 同種工事の施工実績及び配置予定技術者の経験等については、記載する工事のCORINS(登録されてない場合は契約書(工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認できる部分))の写しを提出すること。ただし、CORINS等での記載内容で同種工事の施工実績及び配置予定技術者の経験等が不明な場合については



平面図、構造図、数量総括表、交通規制状況図等を必ず添付すること。

- (7) 提出された技術資料は、返却しない。
- (8) 本交付資料は技術資料作成以外の目的で使用してはならない。
- (9) 技術資料作成に関する手続についての問い合わせには応じるが、工事内容等の問い合わせには応じない。なお、問い合わせ先は次のとおりとする。

・ 問い合わせ先： (略)

住所：〇〇県〇〇市〇〇町〇-〇-〇

電話：〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

(略)

- (10) 第1回目の入札が不調となった場合、再度入札に移行する。再度入札の日時については、電子入札、紙により持参、郵送が混在する場合があるため、発注者から指示する。開札時間から約30分以内には発注者から再入札通知書を送信するので、パソコンの前で暫く待機すること。開札処理に時間を要し、予定時間を超えるようであれば、発注者から連絡する。
- (11) 落札となるべき最も高い評価値の入札をした者が2人以上ある時は、くじへ移行する。くじの日時及び場所については、発注者から電話等により指示する。

(様式-1)

工 程 表																											
													工事名：〇〇工事														
													会社名：〇〇建設														
項 目	単 位	数 量	3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		
			10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	10	20	
■工程管理に係わる技術的所見																											

施工上の課題に係わる技術的所見

(工事名：〇〇工事)

会社名：\_\_\_\_\_

■施工上の課題	①〇〇対策について ②△△の品質管理について
---------	---------------------------

項 目	具 体 的 な 施 工 計 画
①〇〇対策について	
②△△の品質管理について	

## 同種工事の施工実績

(工事名：〇〇工事)

会社名：\_\_\_\_\_

同種工事の条件 (主任(監理)技術者の工事経験と異なる場合があるので、確認の上作成すること。)	平成〇年〇月〇日以降に、元請けとして完成・引渡し完了した下記の要件を満たす同種工事の施工実績を有すること。(共同企業体の構成員としての実績は、出資比率20%以上の場合のものに限る。) ア) 延長〇〇m、面積〇〇㎡以上の〇〇工事であること。  経常建設共同企業体にあつては、構成員のうち1社が上記の施工実績を有し、他の構成員は下記の施工実績を有すること。	
工事名称等	工事名称	〇〇〇〇〇工事 (CORINS登録番号)
	発注機関名	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所
	施工場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
	契約金額	(全体の金額を記入する)
	工期	平成〇年〇月〇日 ~ 平成〇年〇月〇日
	受注形態	単体 / 〇〇・〇〇JV (出資比率〇〇%)
	※表彰 [表彰名・工事名] (表彰者・年月日)	[優秀表彰〇〇〇〇表彰・〇〇〇〇〇工事] (〇〇〇〇事務所長・平成〇〇年〇〇月〇〇日)
工事概要	構造・形式	・ 〇〇工事 〇〇m×〇〇m
	規模・寸法等	
	使用材料・数量	
	施工条件	・ 地形地質条件 ・ 施工方法

※記載欄の明示は記入例である。

※同種工事の施工実績等については、記載する工事のCORINS(登録されていない場合は契約書(工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認できる部分))の写しを提出すること。ただし、CORINS等の記載内容で同種工事の施工実績等が不明な場合については平面図、構造図、数量総括表、交通規制状況図等を必ず添付すること。

※同種工事の施工実績について、平成〇年〇月〇日以降に完成した大臣官房官庁営繕部所掌の工事又は地方整備局所掌の工事(旧地方建設局所掌の工事を含み、港湾空港関係を除く。)である場合にあつては、当該工事に係る工事成績評定通知書の写しを添付すること。

※表彰欄については、申請する工事が公団・都県で優良工事表彰(工事の出来映え・品質に関する表彰に限る。)を受けている場合に記入する。

## 主任（監理）技術者の資格・工事経験

(工事名：〇〇工事)

会社名：\_\_\_\_\_

配置予定技術者の従事役職・氏名	〇〇技術者 〇〇 〇〇				
最終学歴	〇〇大学 〇〇工学科 〇〇年卒業				
法令による資格・免許	1級土木施工管理技士（取得年及び登録番号） 監理技術者資格（取得年、有効期限、登録番号及び登録会社） 監理技術者講習（取得年、修了証番号）				
技術者表彰 〔表彰名・工事名〕 （表彰者・年月日）	〔優秀〇〇〇〇表彰・〇〇〇〇工事〕 （〇〇〇〇事務所長・平成〇年〇月〇日）				
工事経験の条件 （同種工事の施工実績と異なる場合があるので、確認の上作成すること。）	平成〇年〇月〇日以降過去に元請けとして完成・引渡し完了した下記の要件を満たす同種工事に従事した経験を有すること。（共同企業体の構成員としての経験は、出資比率20%以上の場合のものに限る。） ア）延長〇〇m、面積〇〇m <sup>2</sup> 以上の〇〇工事であること。 経常建設共同企業体にあつては、構成員のうち1社の主任（監理）技術者が上記の同種工事の施工経験を有していればよい。				
工事経験の概要	工事名称	〇〇〇〇〇工事（CORINS登録番号）			
	発注期間名	国土交通省〇〇地方整備局〇〇事務所			
	工事場所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇			
	契約金額	〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇円			
	工期	平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日			
	工期受注形態等	単体 / 〇〇・〇〇JV（出資比率〇〇%）			
	従事役職	現場代理人・主任技術者・監理技術者・担当技術者			
	工事内容	構造形式	・護岸工 〇〇〇〇m <sup>2</sup>		
	仮設工法構造等	・			
	主要資機材数量	・コンクリート 〇〇〇m <sup>3</sup>			
	施工条件	・地形地質条件 ・施工方法			
工事成績 （過去2年間の同種・類似工事の工事成績評定点を記入すること）	工事件名	工期	発注者名	CORINS番号	評定点
		～			
		～			
		～			
申請時における他工事の従事状況等	工事名称	〇〇〇〇〇工事（CORINS番号）			
	発注機関名	〇〇〇〇〇			
	工期	平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日			
	従事役職	現場代理人・主任技術者・監理技術者 （役職を兼務して従事した場合は全てについて記述する）			
	本工事と重複する場合の対応措置	CORIS登録の有無			
	有（CORINS登録番号） ・ 無				

※配置予定技術者の経験等については、記載する工事のCORINS（登録されていない場合は契約書（工事名、契約金額、工期、発注者、請負者の確認できる部分））の写しを提出すること。ただし、CORINS等の記載内容で配置予定技術者の経験等が不明な場合については平面図、構造図、数量総括表、交通規制状況図等を必ず添付すること。

※工事成績の欄に記入した工事については、工事成績評定通知書の写しを添付すること。

※申請時における他工事の従事状況は、従事しているすべての工事について、本工事を落札した場合の技術者の配置予定等を記入すること。（従事している工事の従事役職はすべて記入すること。）

※主任（監理）技術者の経験等について、平成〇年〇月〇日以降に完成した大臣官房官庁営繕部所掌の工事又は地方整備局所掌の工事（旧地方建設局所掌の工事を含み、港湾空港関係を除く。）である場合にあつては、当該工事に係る工事成績評定通知書の写しを添付すること。

※記載欄の明記は記入例である。